

平成30年8月27日  
文教委員会資料  
指 導 課

平成29年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの  
結果について

- ①平成29年度保護者アンケートの結果
- ②平成29年度児童・生徒アンケートの結果



# 平成29年度保護者アンケートの結果

## 平成29年度保護者アンケートの概要

### 【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

### 【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

### 【調査期間】

平成30年1月24日（水）から平成30年2月2日（金）まで

### 【調査方法】

質問紙調査（無記名）

### 【配布数および回答率等】

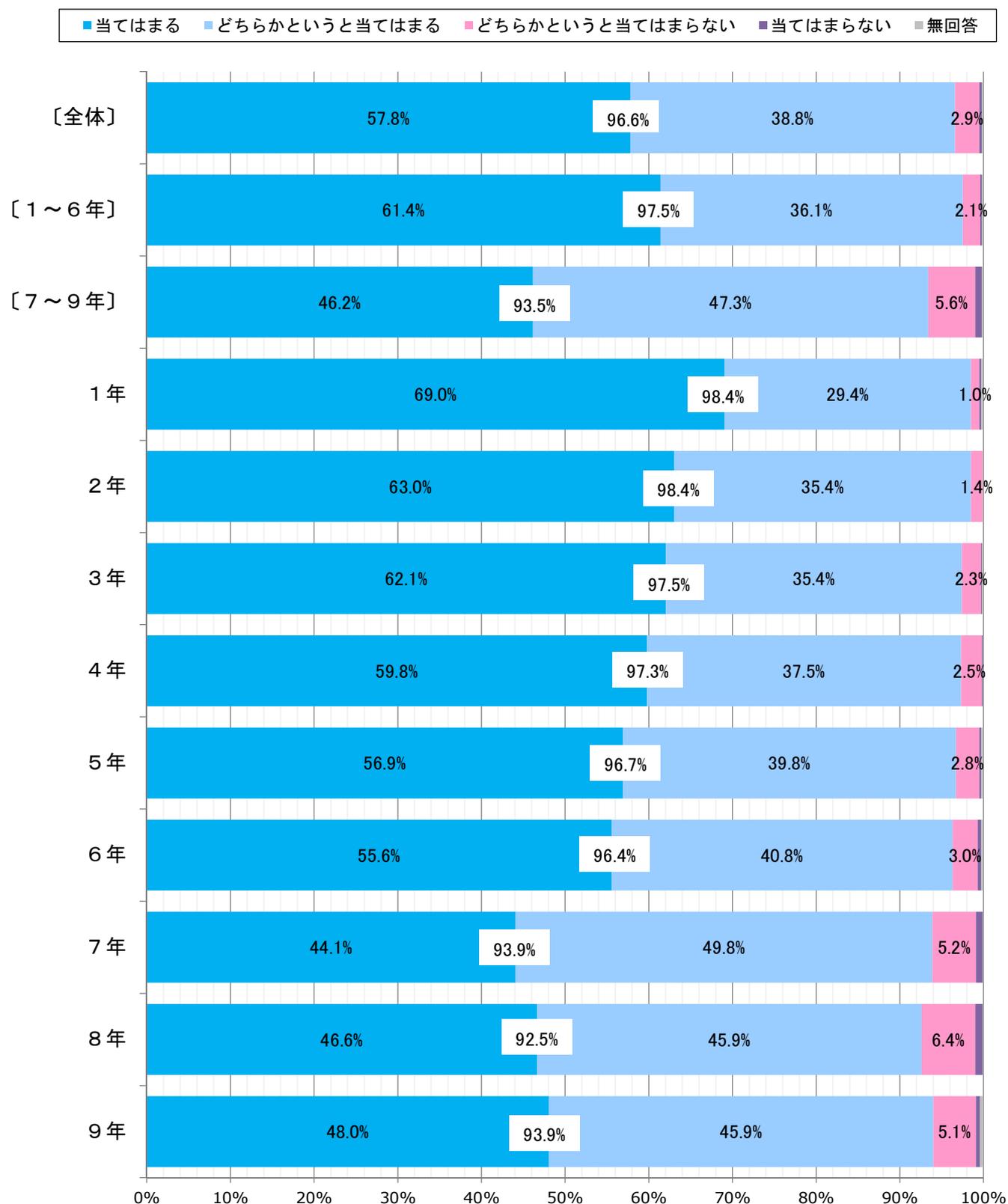
配布数 19,781      回答数 18,220（内、有効回答数 18,066）      回答率 92.1%

## 注記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. 表中の「義務教育学校」とは、「日野学園」「伊藤学園」「八潮学園」「荏原平塚学園」「品川学園」「豊葉の杜学園」の6校の合計である。
4. 表中の「小学校」「中学校」とは、それぞれ、前項の義務教育学校6校を除く小学校31校、中学校9校の合計である。
5. コメント欄内の「肯定的な回答」は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

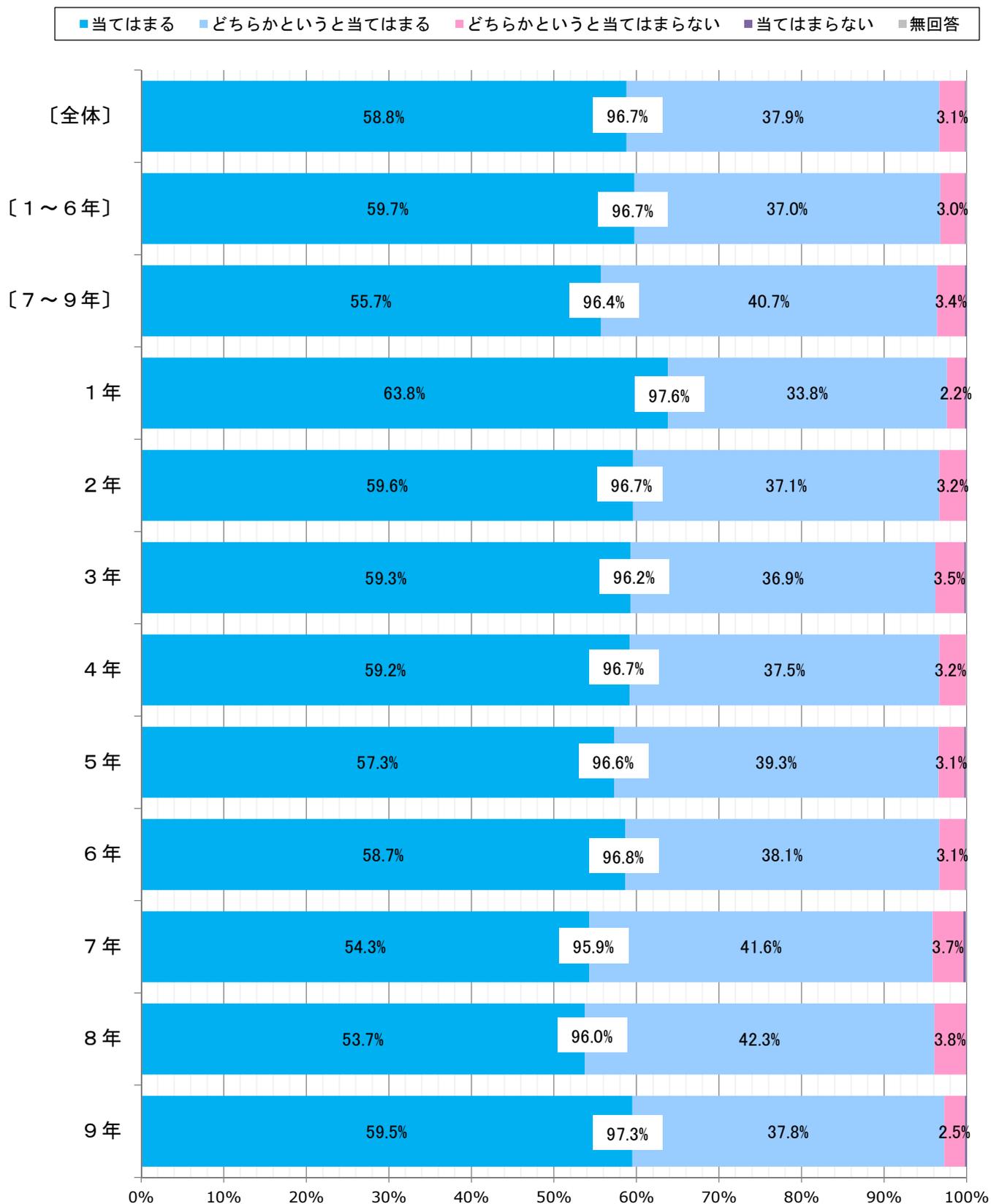
## [A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

### [1] 基本的な生活習慣を身に付けるようにしている。



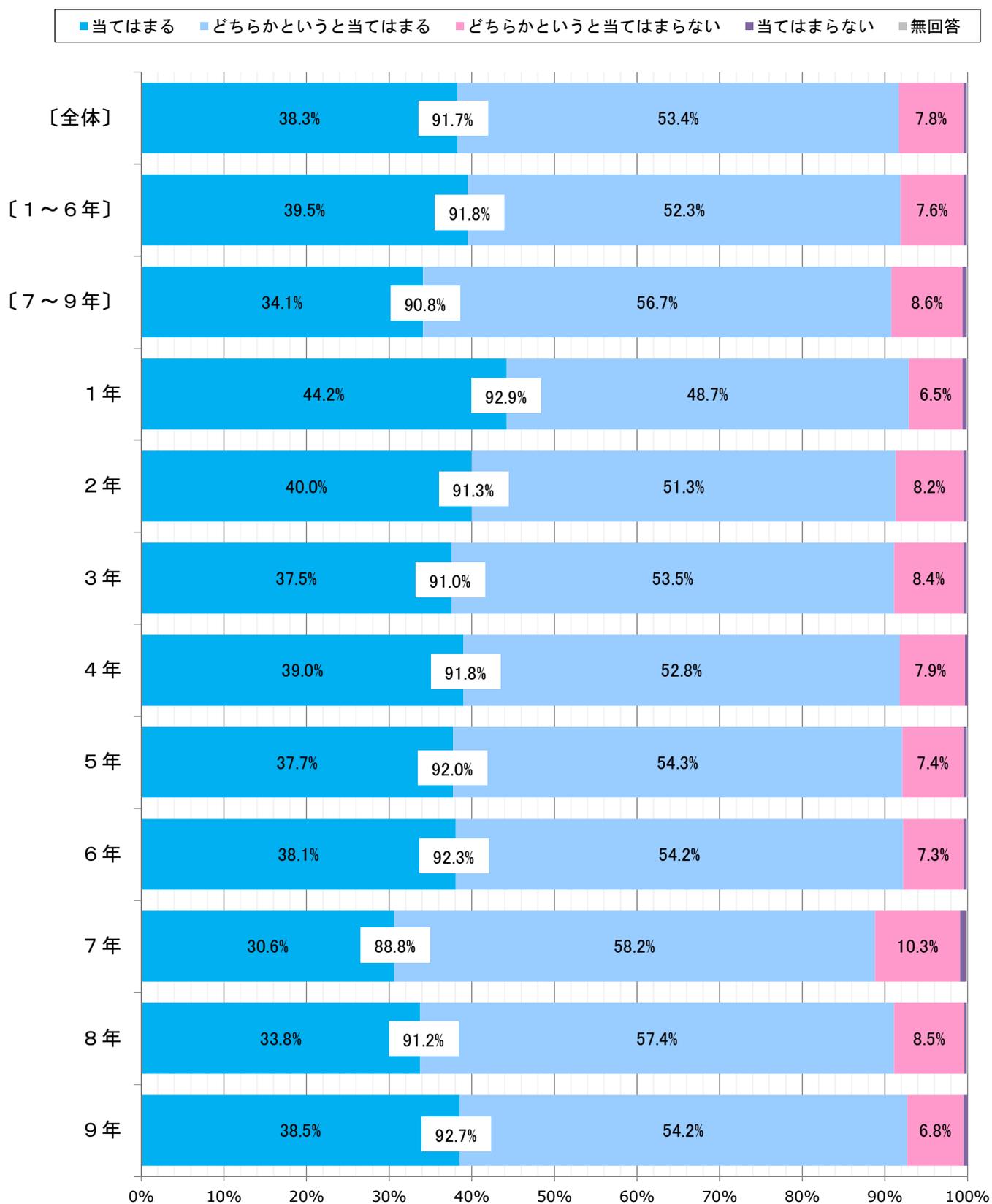
「基本的な生活習慣を身に付けるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で96.6%であり、平成28年度の88.0%に比べ、8.6ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」が90%を超えている。

[2] 挨拶がしっかりできているようにしている。



「挨拶がしっかりできているようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で96.7%であり、平成28年度の93.7%に比べ、3.0ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が95%を超えている。

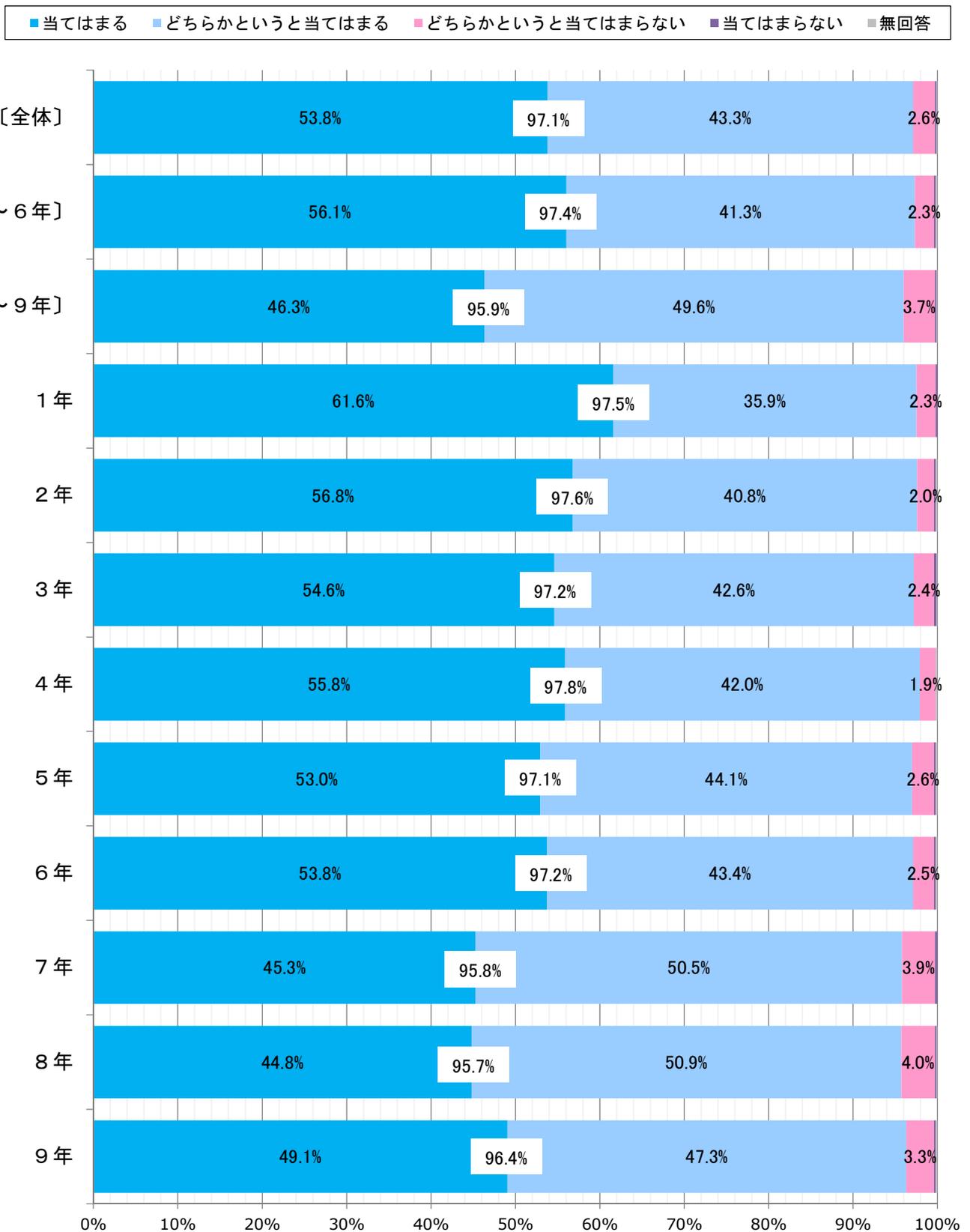
[3] 丁寧な言葉づかいができるようにしている。



「丁寧な言葉づかいができるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で91.7%である。7年のみ90%を切っているが、それ以外の学年は、「肯定的な回答」の割合が90%を超えている。

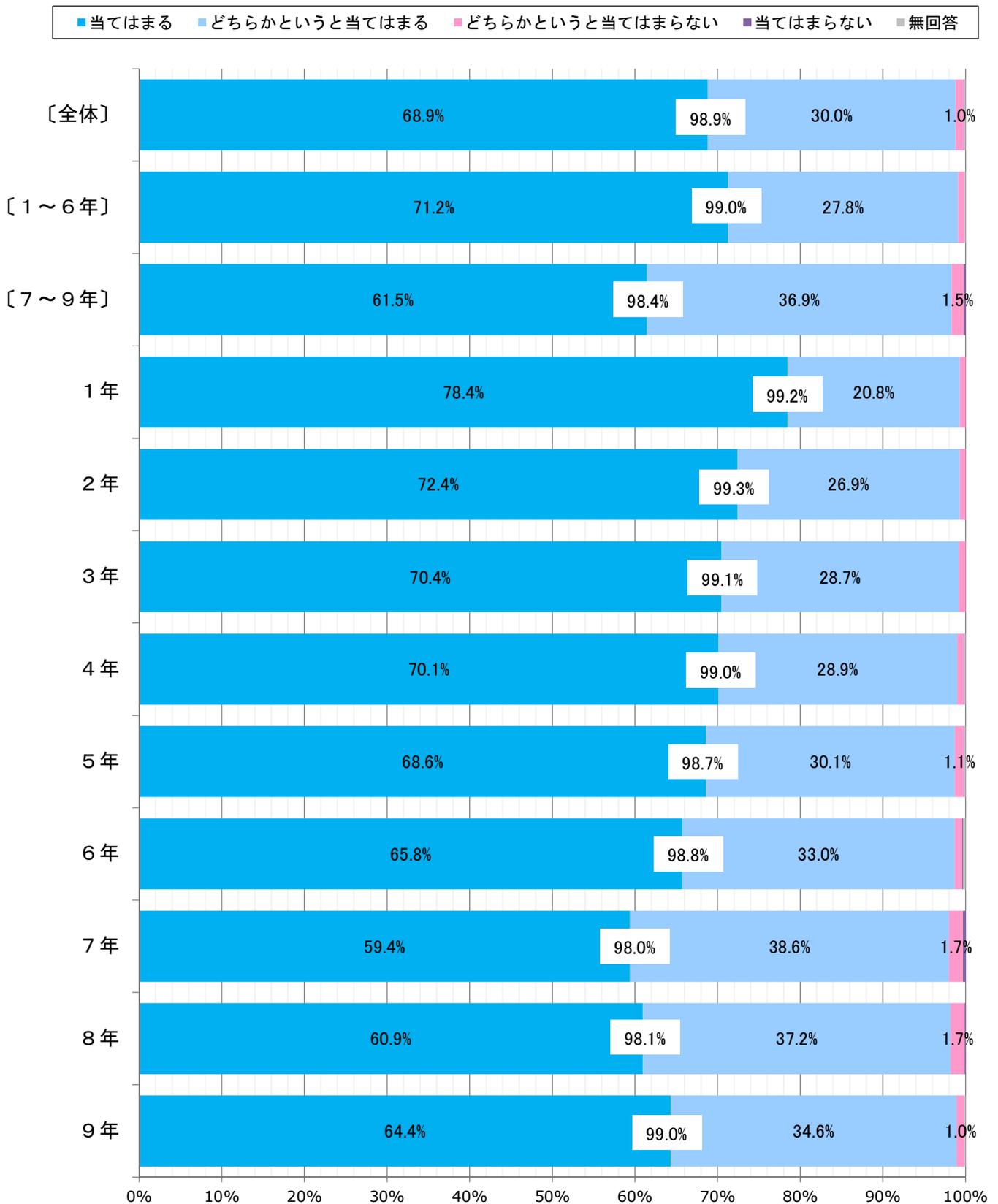
7年から9年にかけては、学年が上がるごとに「当てはまる」と回答した割合が増加している。

[4] 他者を尊重することの大切さを教えている。



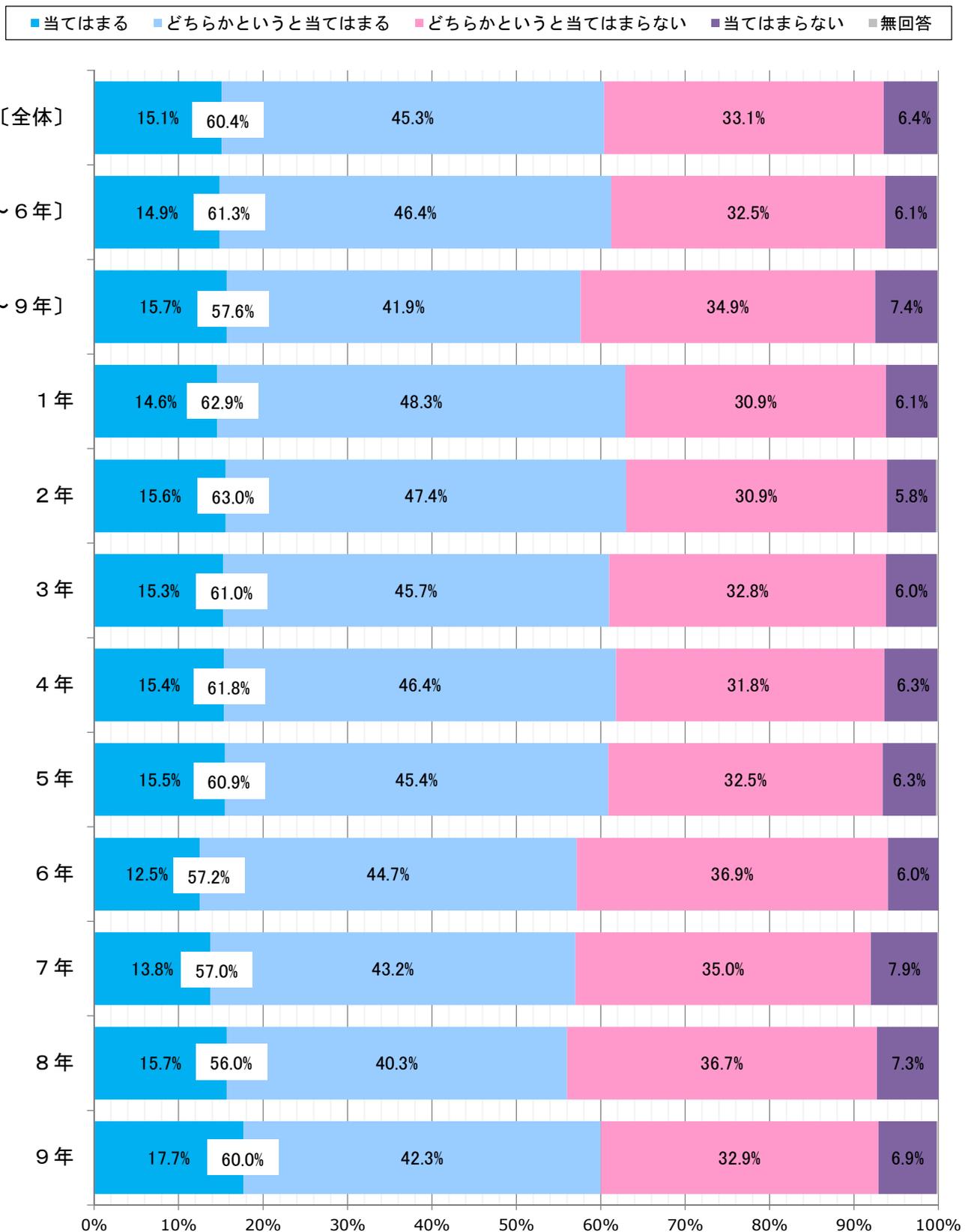
「他者を尊重することの大切さを教えている」と「肯定的な回答」をした家庭は、[全体]で97.1%である。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が95%を超えている。

[5] 学校や公共のルール・マナーを守るようにさせている。



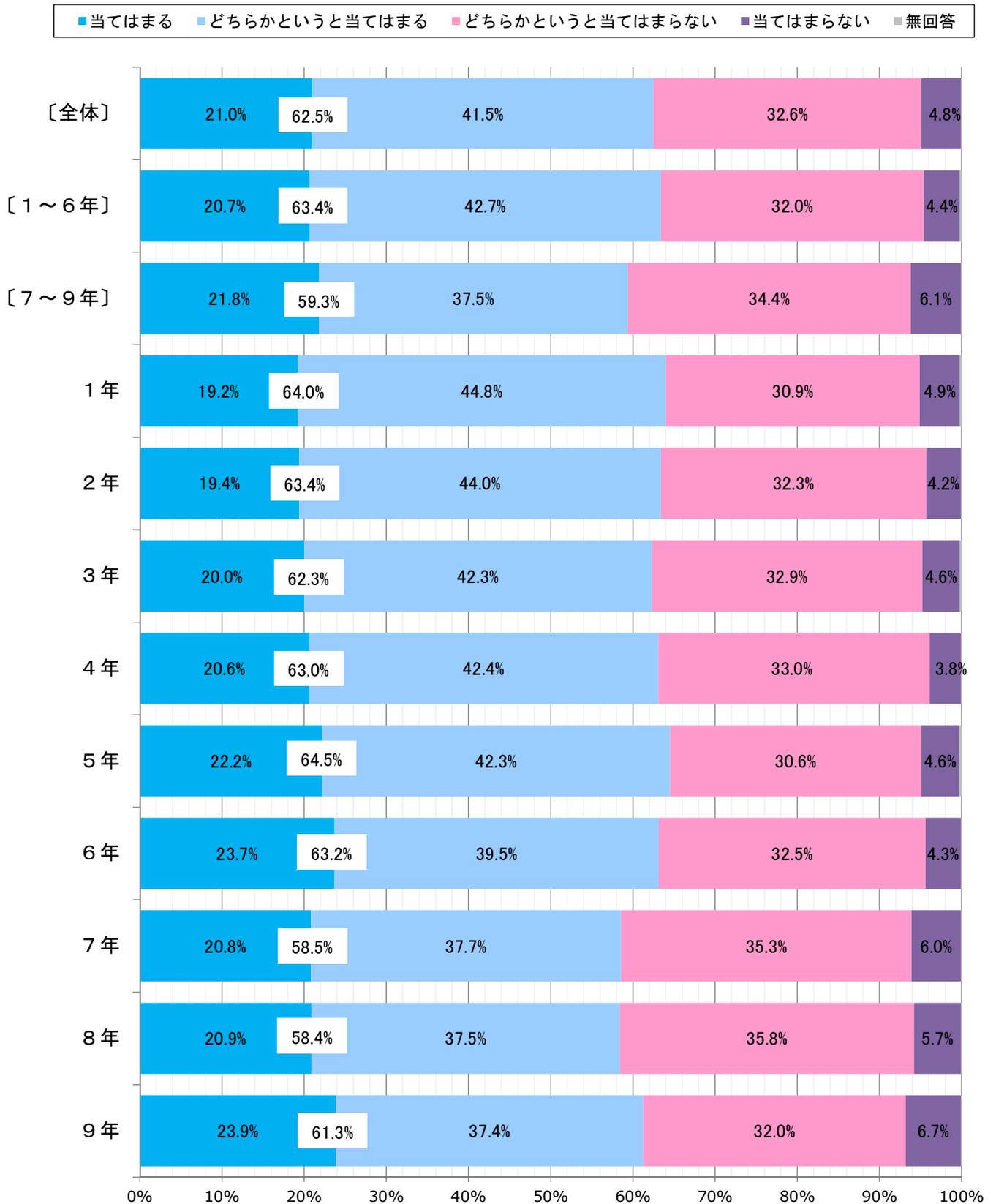
「学校や公共のルール・マナーを守るようにさせている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で98.9%である（平成28年度 98.4%）。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が98%以上である。

[6] 地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている。



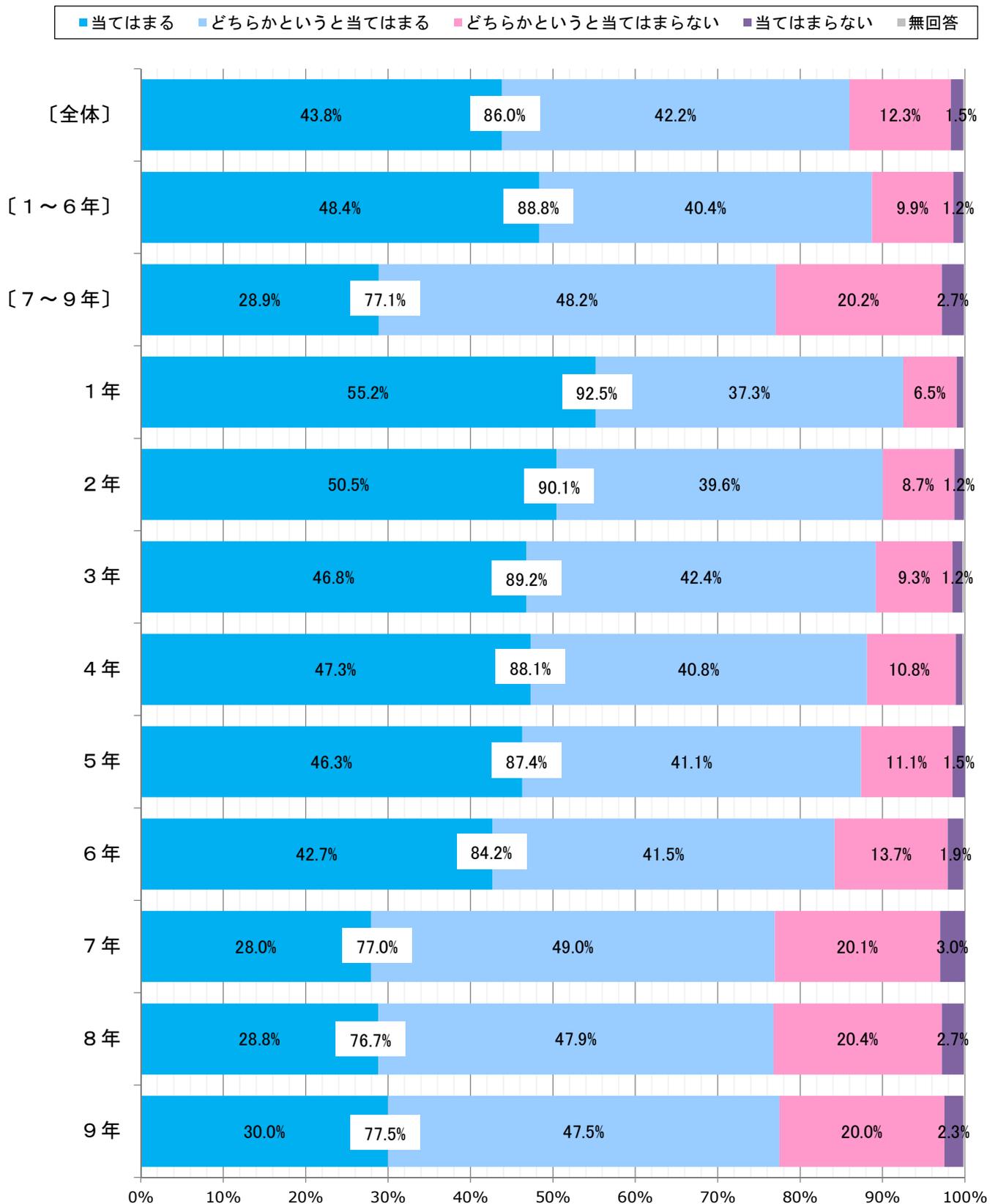
「地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で60.4%であり、平成28年度の47.9%に比べ、12.5ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が55%を超えている。

[7] 子どもに家事を分担している。



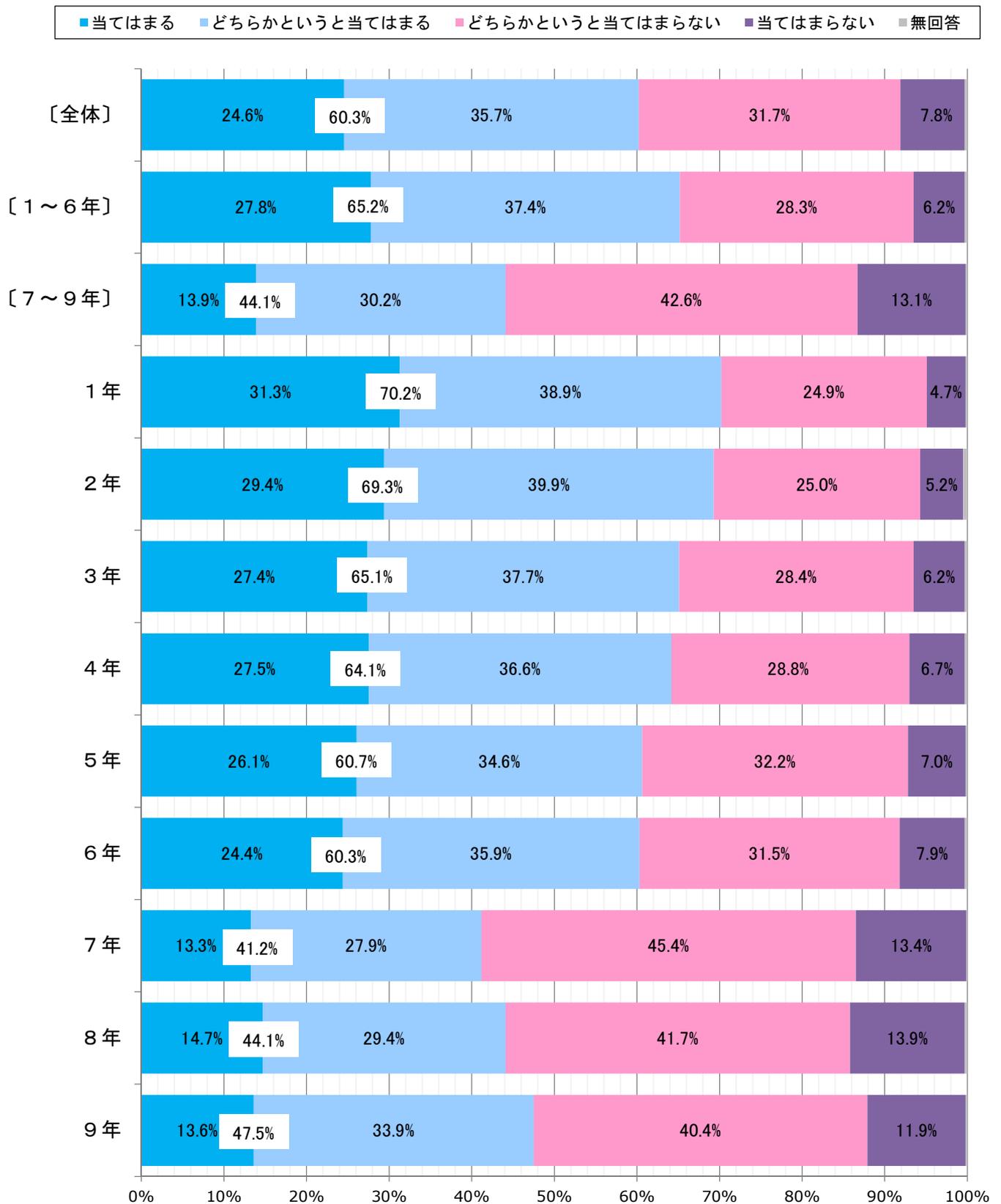
「子どもに家事を分担している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で62.5%であり、平成28年度の58.0%に比べ、4.5ポイント上昇した。全ての学年で「肯定的な回答」の割合が58%を超えている。

[8] 家庭学習の習慣を身に付けるようにしている。



「家庭学習の習慣を身に付けるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で86.0%であり、平成28年度の79.1%に比べ、6.9ポイント上昇した。特に〔7～9年〕における「肯定的な回答」の割合は、平成28年度よりも11.7ポイント上昇した。

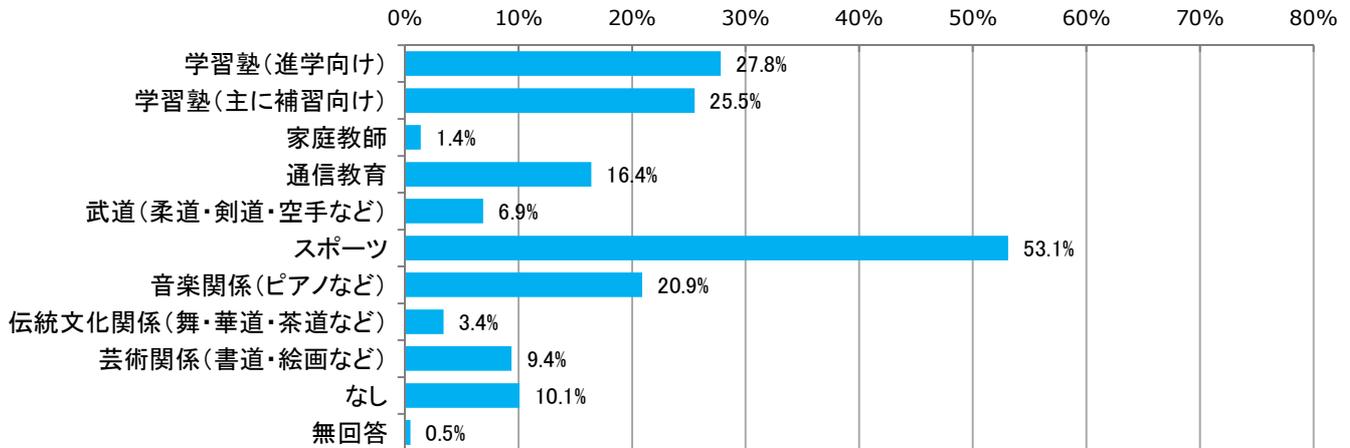
[9] 家庭での読書習慣を身に付けるようにしている。



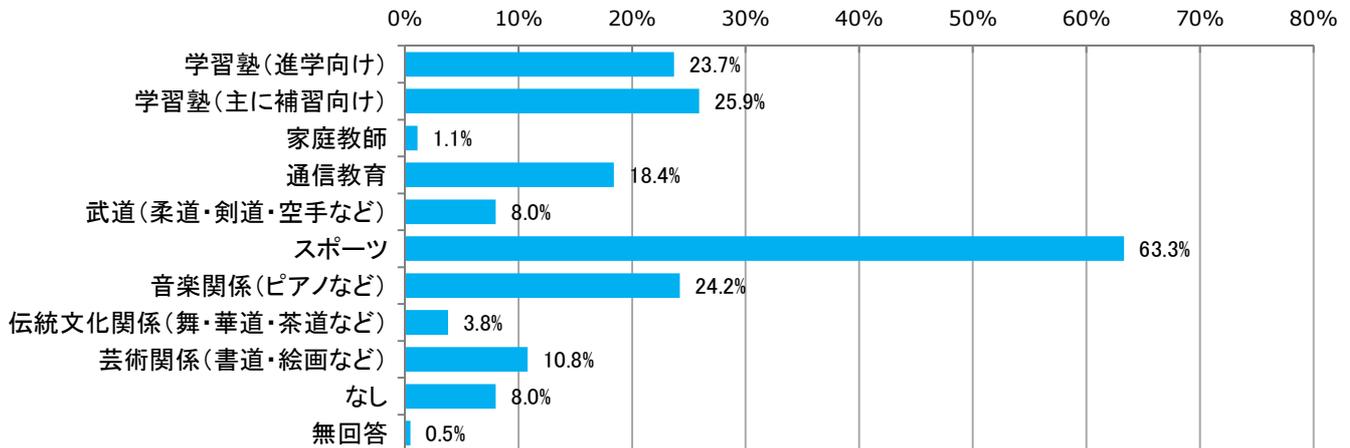
「家庭での読書習慣を身に付けるようにしている」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で60.3%であり、平成28年度の48.2%に比べ、12.1ポイント上昇している。ただし、「肯定的な回答」の割合は、〔7～9年〕は50%を下回る。

[10] どのような塾や習い事をしていますか。現在行っているものをすべて選んでください。

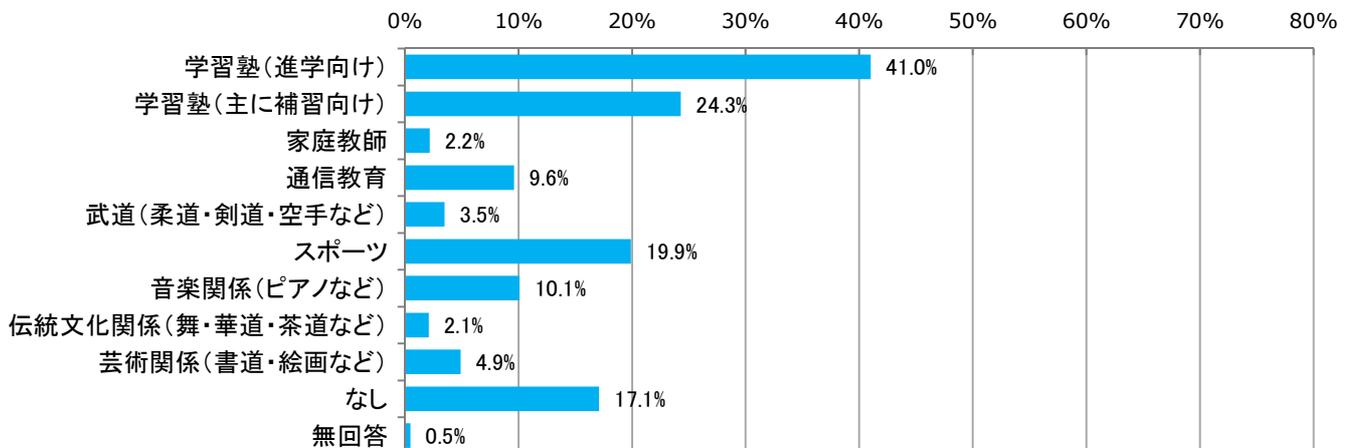
〔全体〕



〔1～6年〕

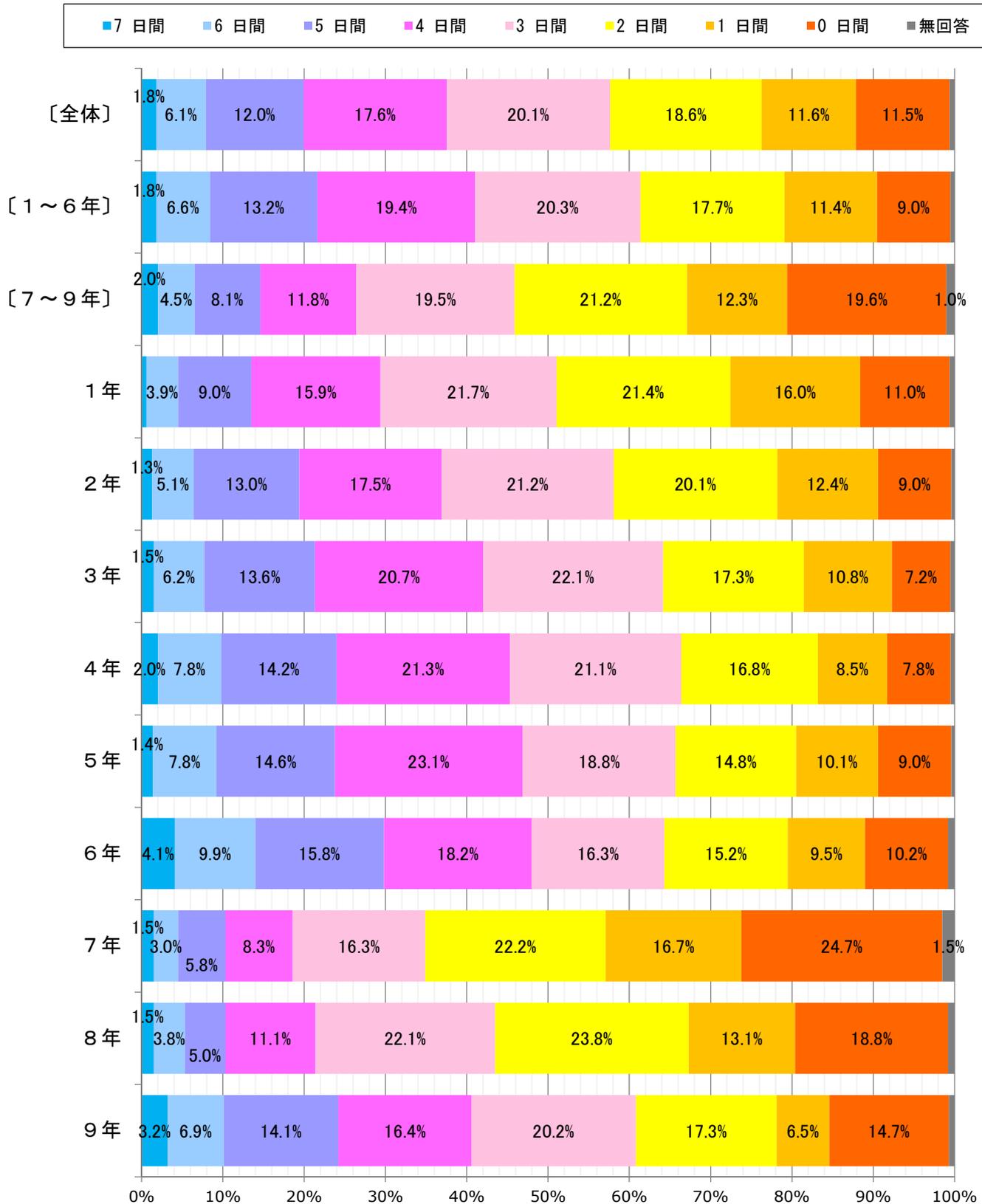


〔7～9年〕



塾や習い事のうち最も多いのは、〔1～6年〕では「スポーツ」、〔7～9年〕では「学習塾（進学向け）」である。「学習塾（進学向け）」に通わせている家庭の割合は、〔全体〕で27.8%であり、〔1～6年〕では23.7%、〔7～9年〕では41.0%である。一方、「学習塾（主に補習向け）」に通わせている家庭の割合は、〔全体〕で25.5%であり、〔1～6年〕、〔7～9年〕ともに25%程度である。

[11] 1週間のうち、塾や習い事に何日間行っていますか。

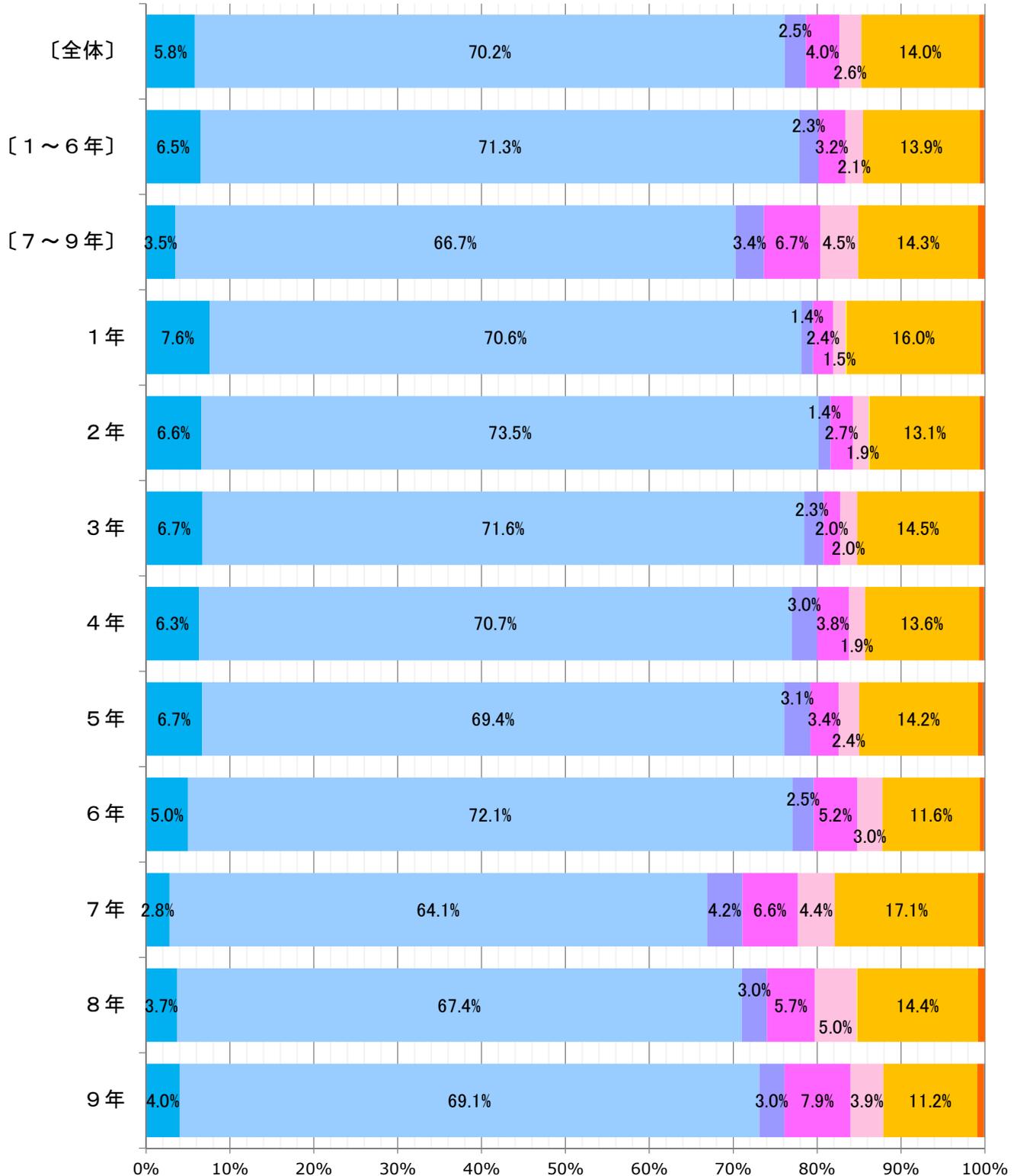
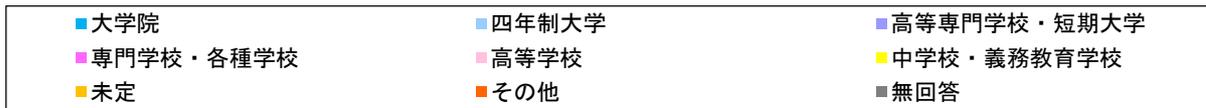


「1週間のうち、塾や習い事に行かせている日がある」家庭の割合は、〔全体〕では、87.8%、〔1～6年〕は90.4%、〔7～9年〕は79.4%である。

【学年別】 1年 88.5% 2年 90.6% 3年 92.2% 4年 91.7% 5年 90.6%  
6年 89.0% 7年 73.8% 8年 80.4% 9年 84.6%

〔1～6年〕に比べ、〔7～9年〕では塾や習い事に行かせている家庭の割合が低い。また、〔1～6年〕では、「3日」が20.3%で最も高いのに対し、〔7～9年〕では、「2日」が21.2%で最も高い。

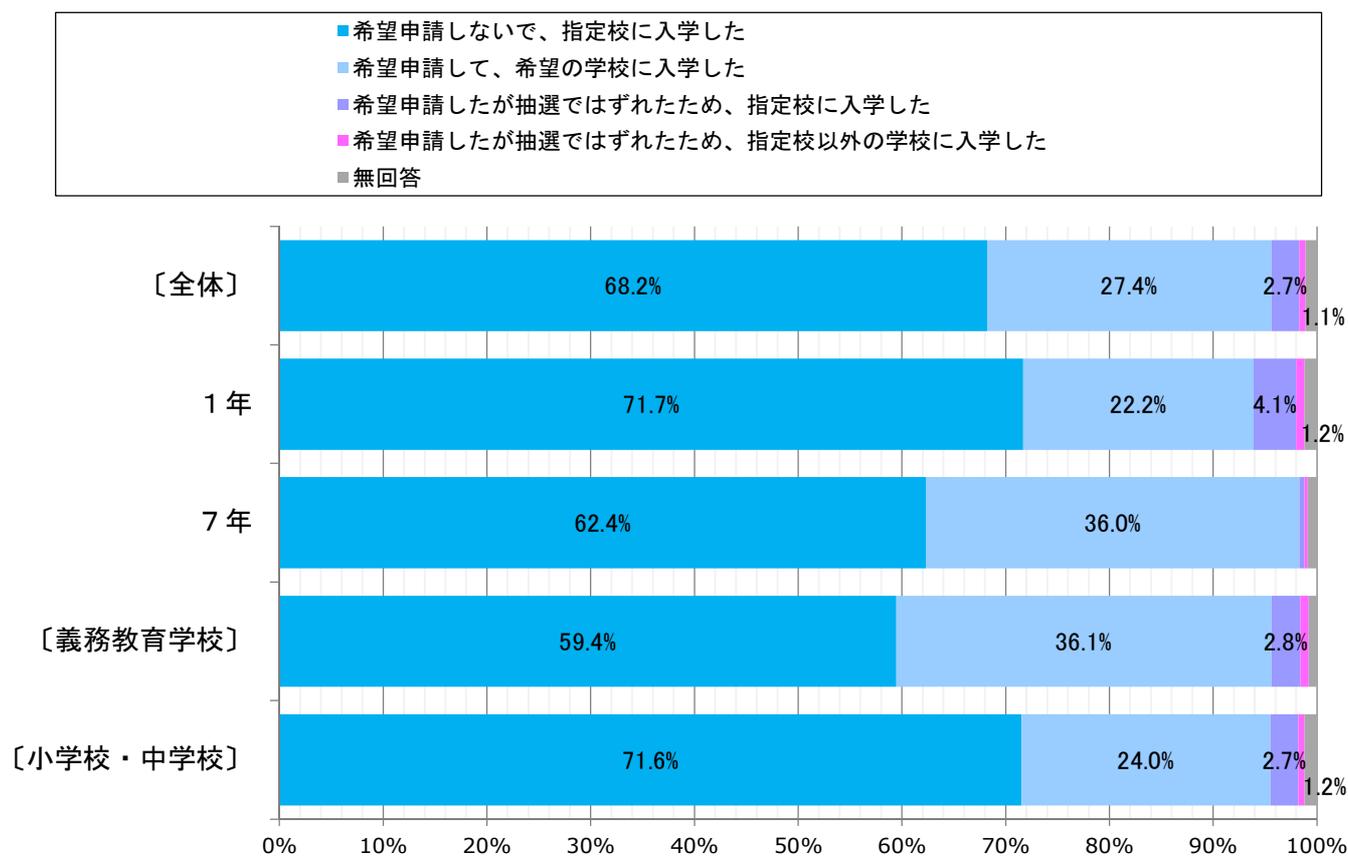
[12] 将来どこの学校まで進学するように考えていますか。



全ての学年において「四年制大学」まで進学させたいと考えている家庭が60%以上と最も高く、〔1～6年〕では77.8%、〔7～9年〕では70.2%の保護者が、「四年制大学」以上まで進学させたいと考えている。この傾向は、平成28年度と同様である。

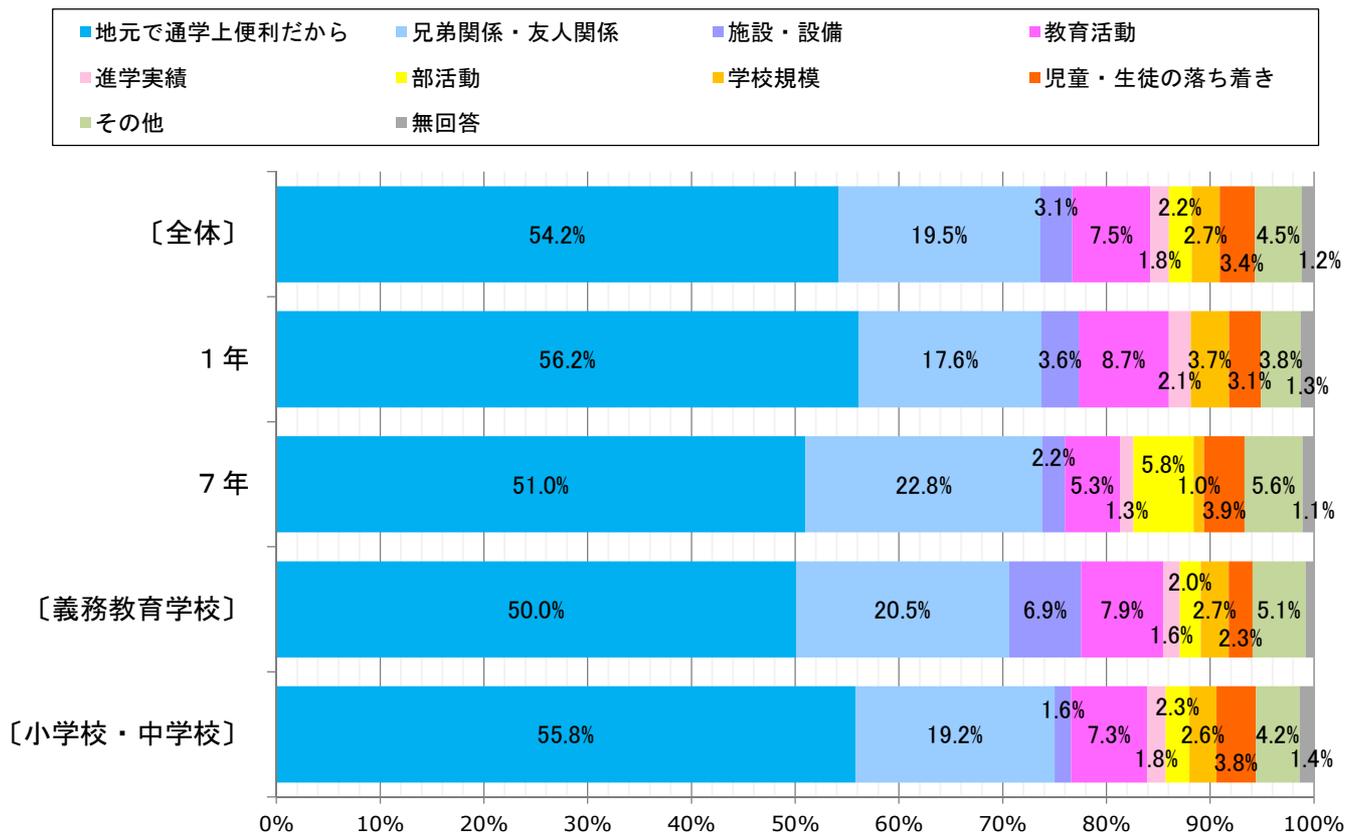
## [B. 品川区の学校選択制について]

[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。  
(1、7年のみ)



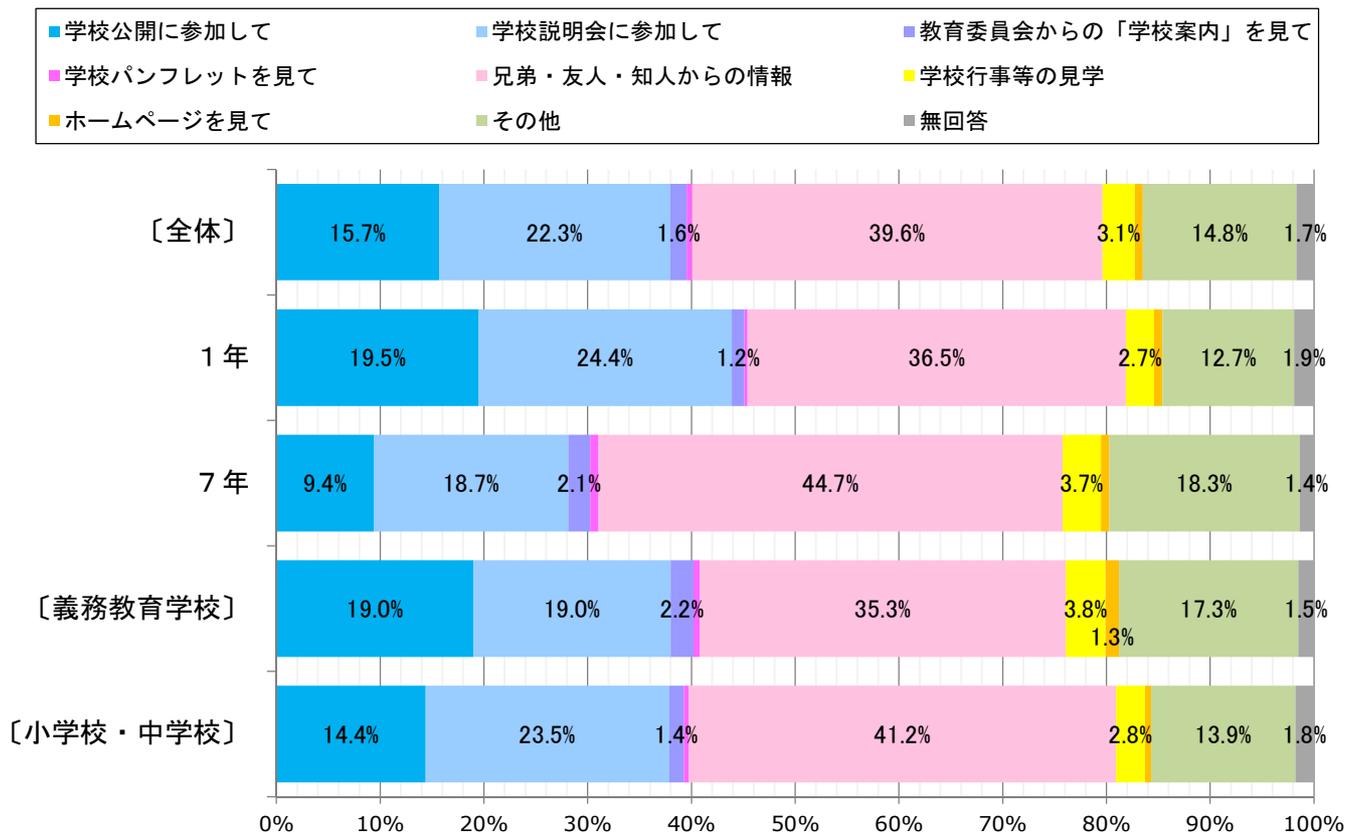
学校選択制を利用し「希望申請して、希望の学校に入学した」割合は1年が22.2%、7年が36.0%である。また、「希望申請しないで、指定校に入学した」の割合は、〔小学校・中学校〕のほうが〔義務教育学校〕より高い。

[14] 学校を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。(1、7年のみ)



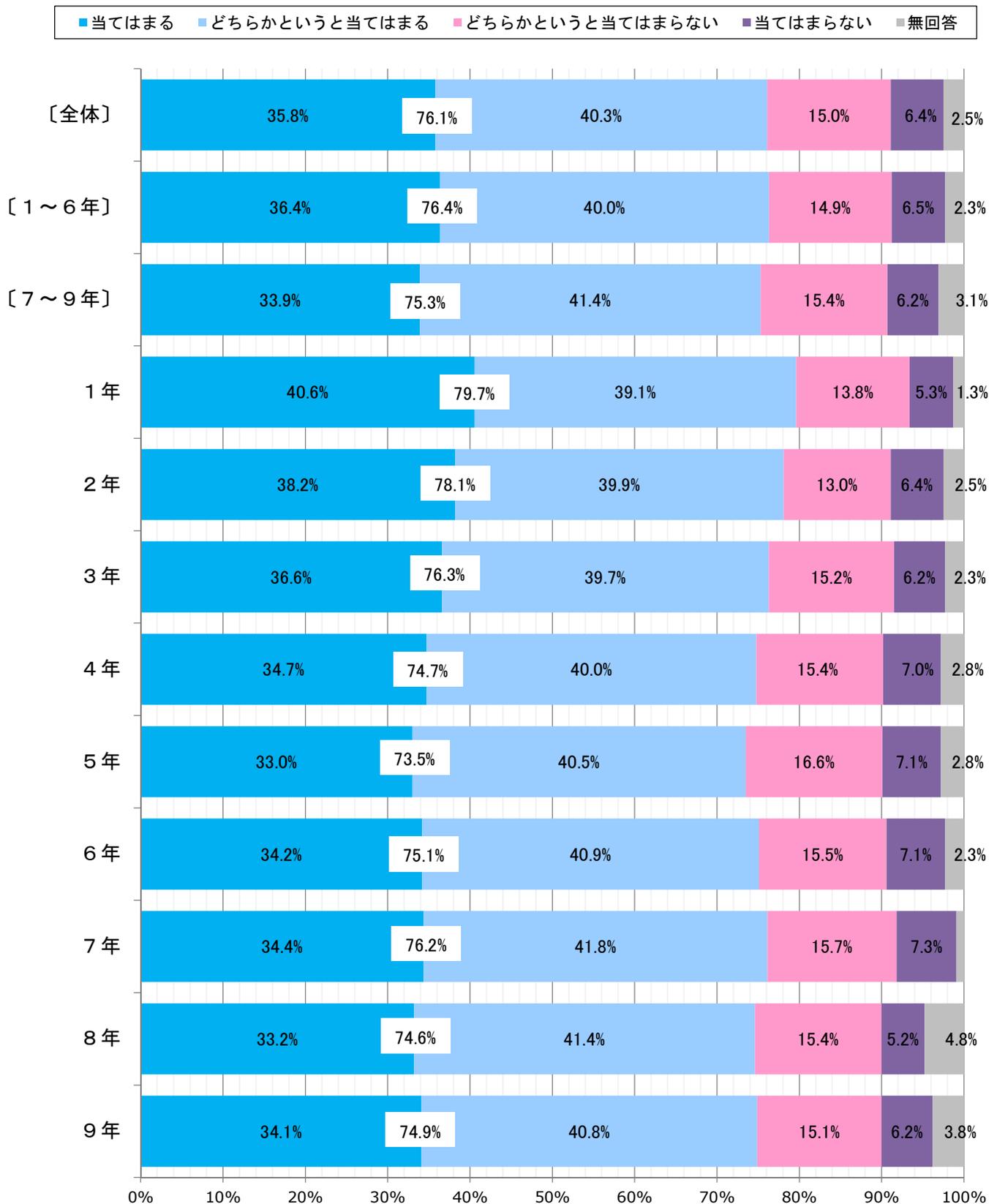
学校を選択する際、最も重視したことは、「地元で通学上便利だから」が1年で56.2%、7年で51.0%と最も高い。次いで、「兄弟関係・友人関係」が1年で17.6%、7年が22.8%である。「施設・設備」を重視した割合は、〔小学校・中学校〕より〔義務教育学校〕のほうが高い。

[15] 学校を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。（1、7年のみ）



学校選択をする際、最も重視した情報は、「兄弟・友人・知人からの情報」が1年で36.5%、7年で44.7%と最も高い。また、いずれの校種も「兄弟・友人・知人からの情報」を重視した割合が最も高い。

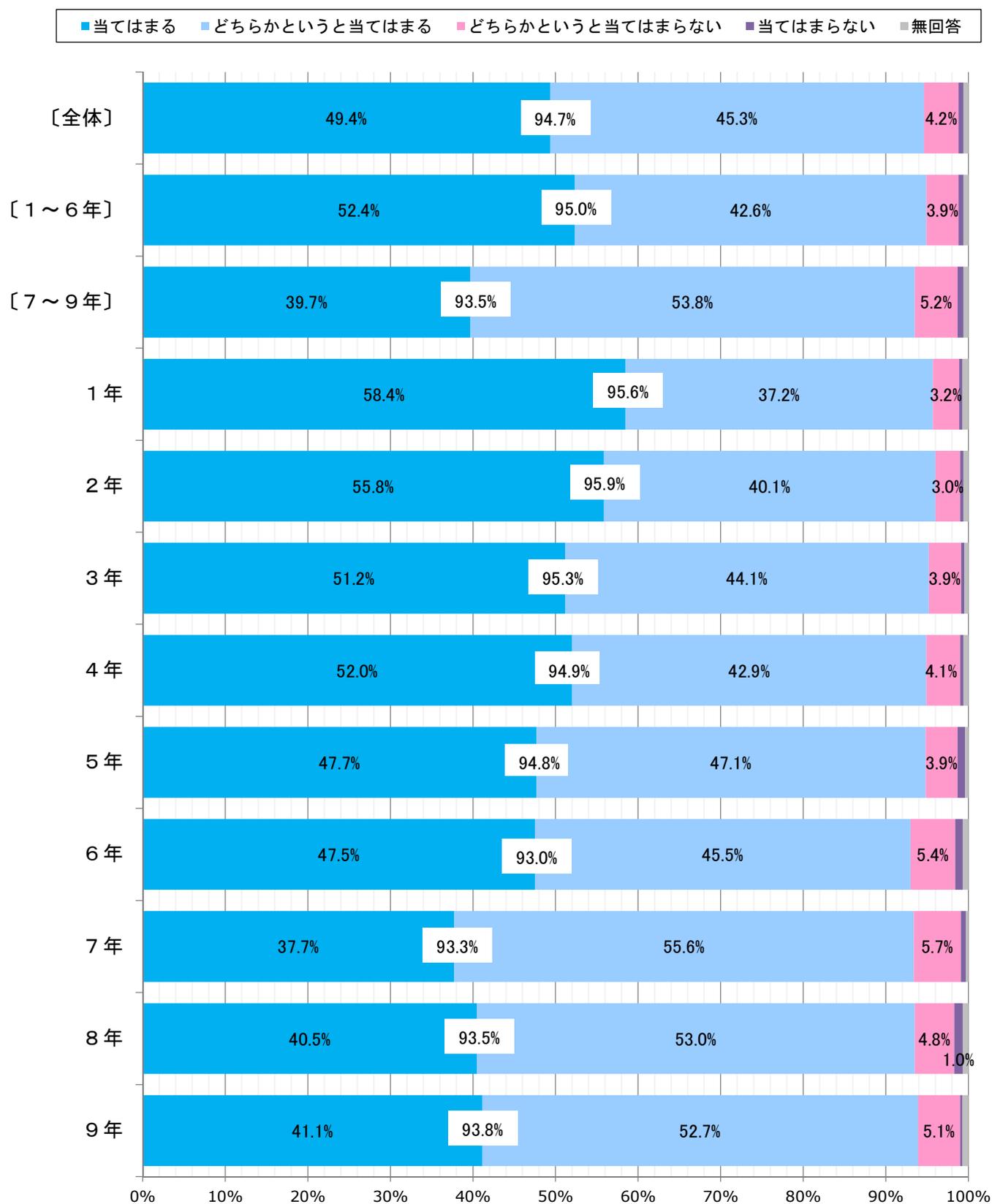
[16] 学校選択は良い制度だと思う。



「学校選択は良い制度だと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で76.1%であり（平成28年度 74.4%）、〔1～6年〕は76.4%、〔7～9年〕は75.3%である。学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

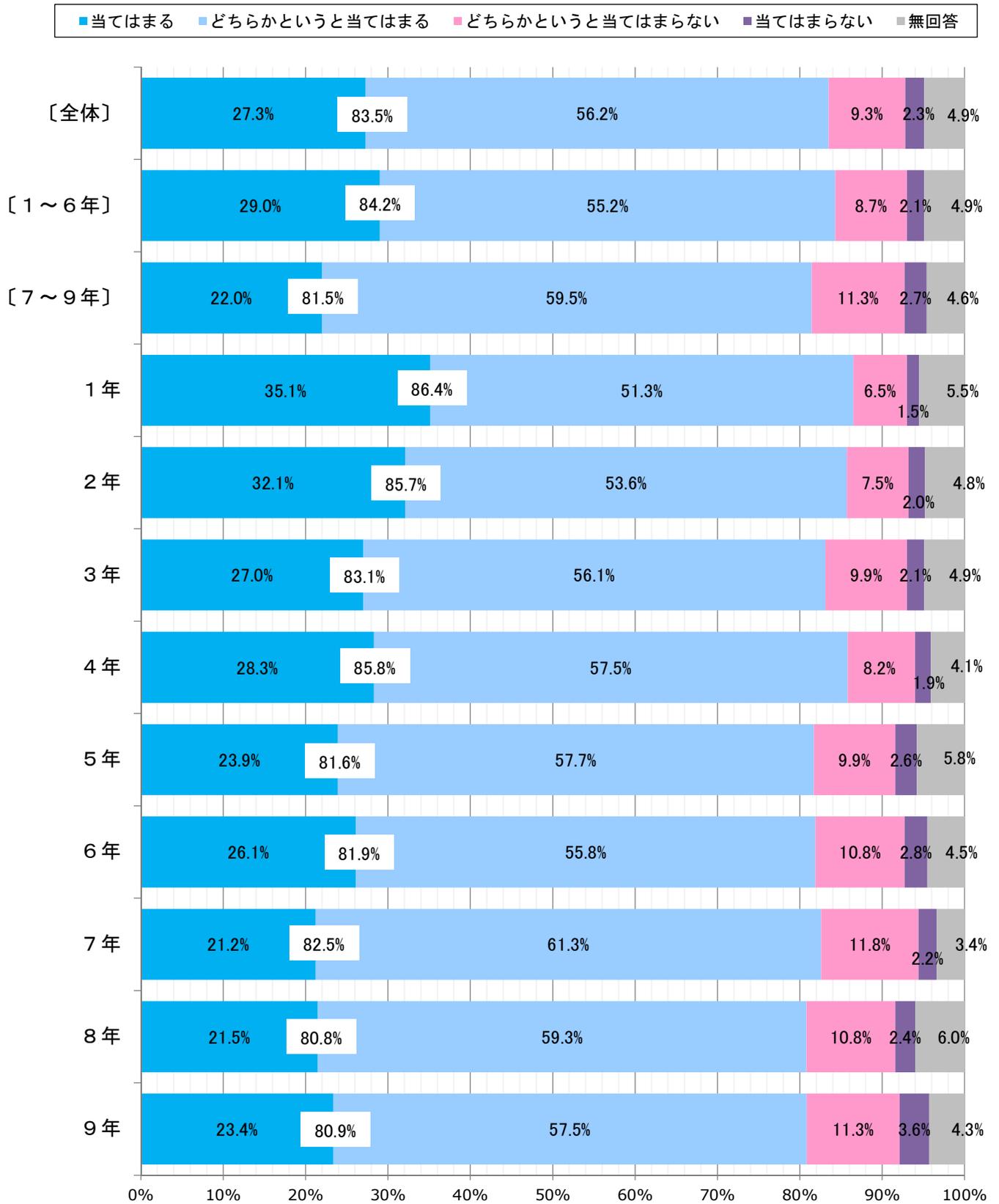
## [C. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

[17] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



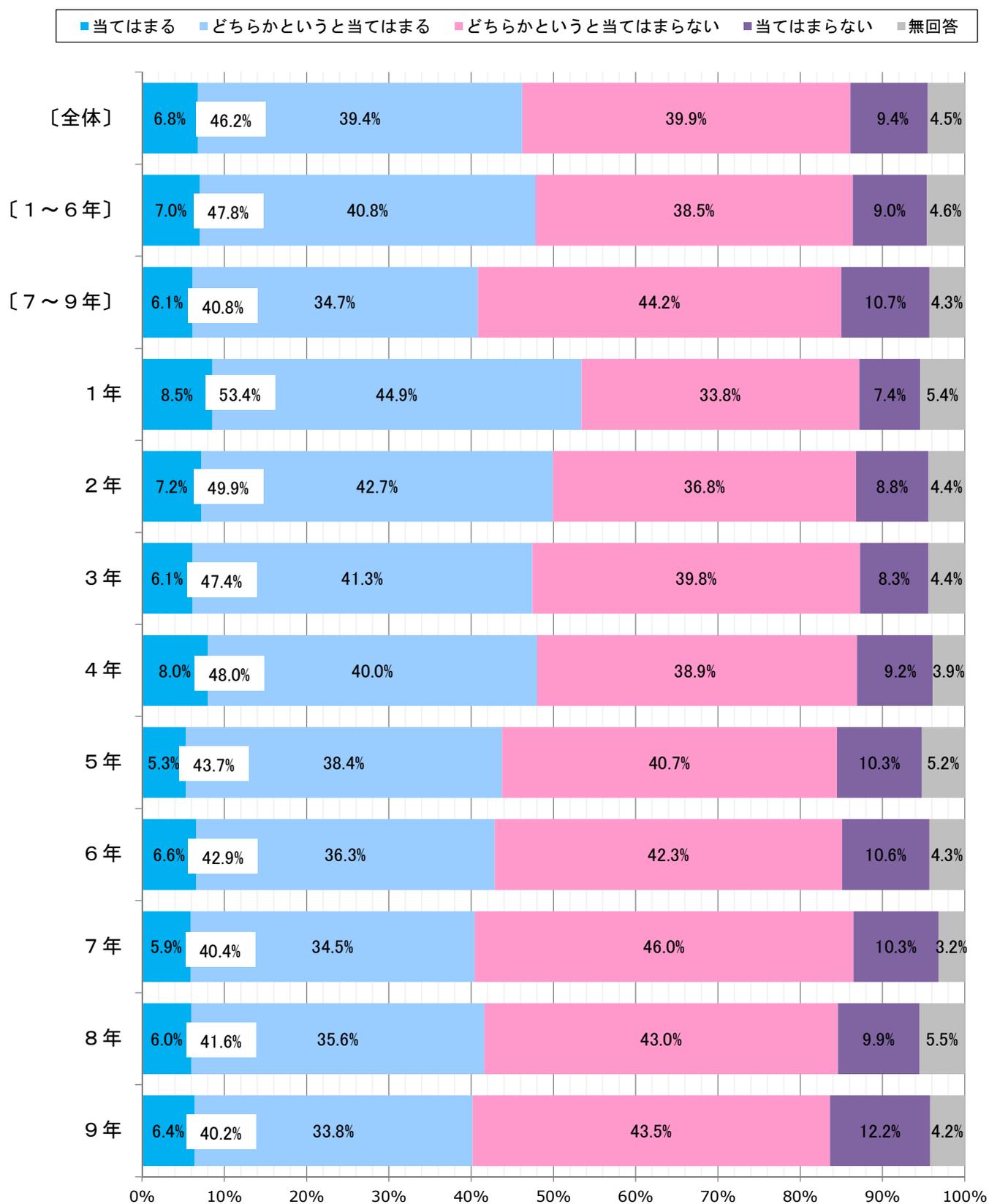
「子どもが通っている学校は、地域と連携している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で94.7%であり（平成28年度 92.0%）、全ての学年で「肯定的な回答」の割合が93%以上である。

[18] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



「品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で83.5%であり、〔1～6年〕は84.2%、〔7～9年〕は81.5%である。また、各学年、無回答が5%程度ある。

[19] お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う。

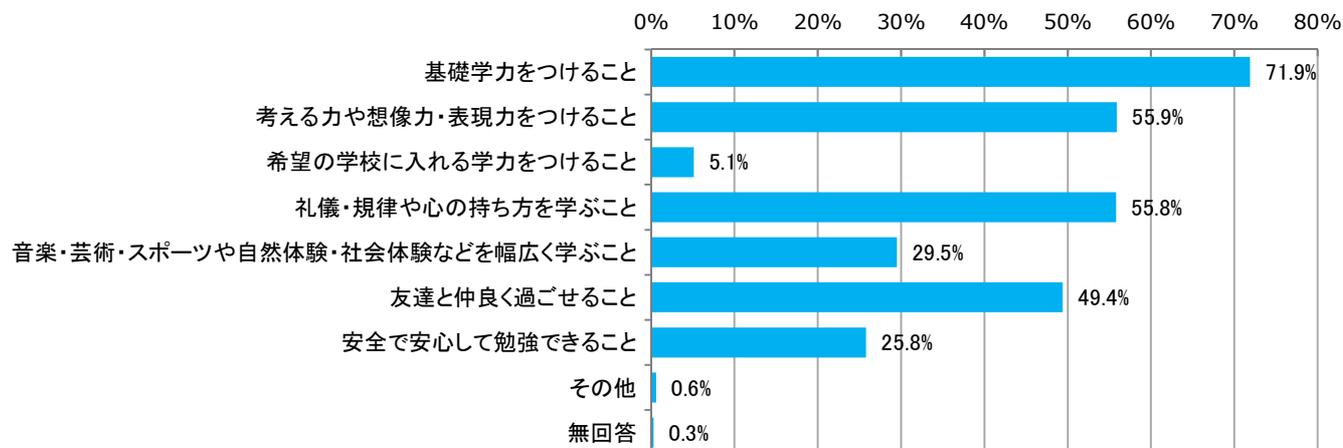


「子どもが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で46.2%と半数以下であり、〔1～6年〕は47.8%、〔7～9年〕は40.8%である。

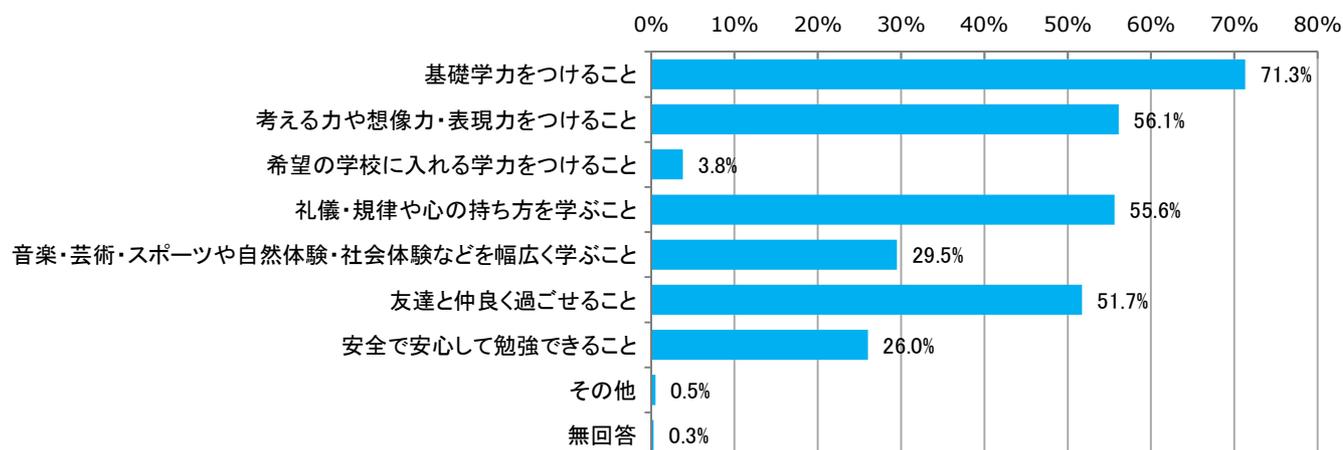
## D. 品川区の教育施策について

[20] 義務教育段階で重要だと思うことは何ですか。3つまで選んでください。

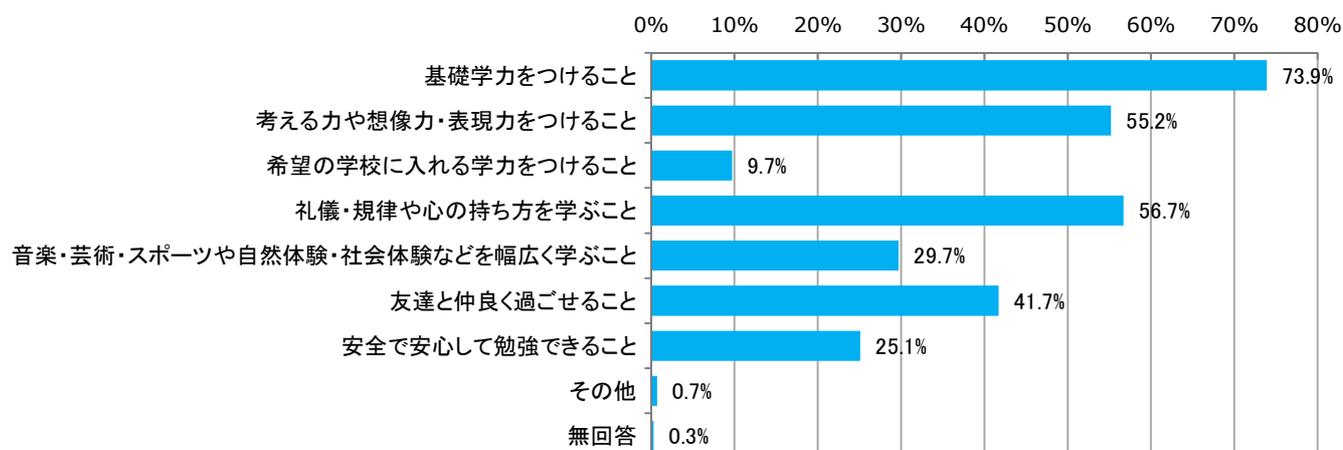
### 〔全体〕



### 〔1～6年〕

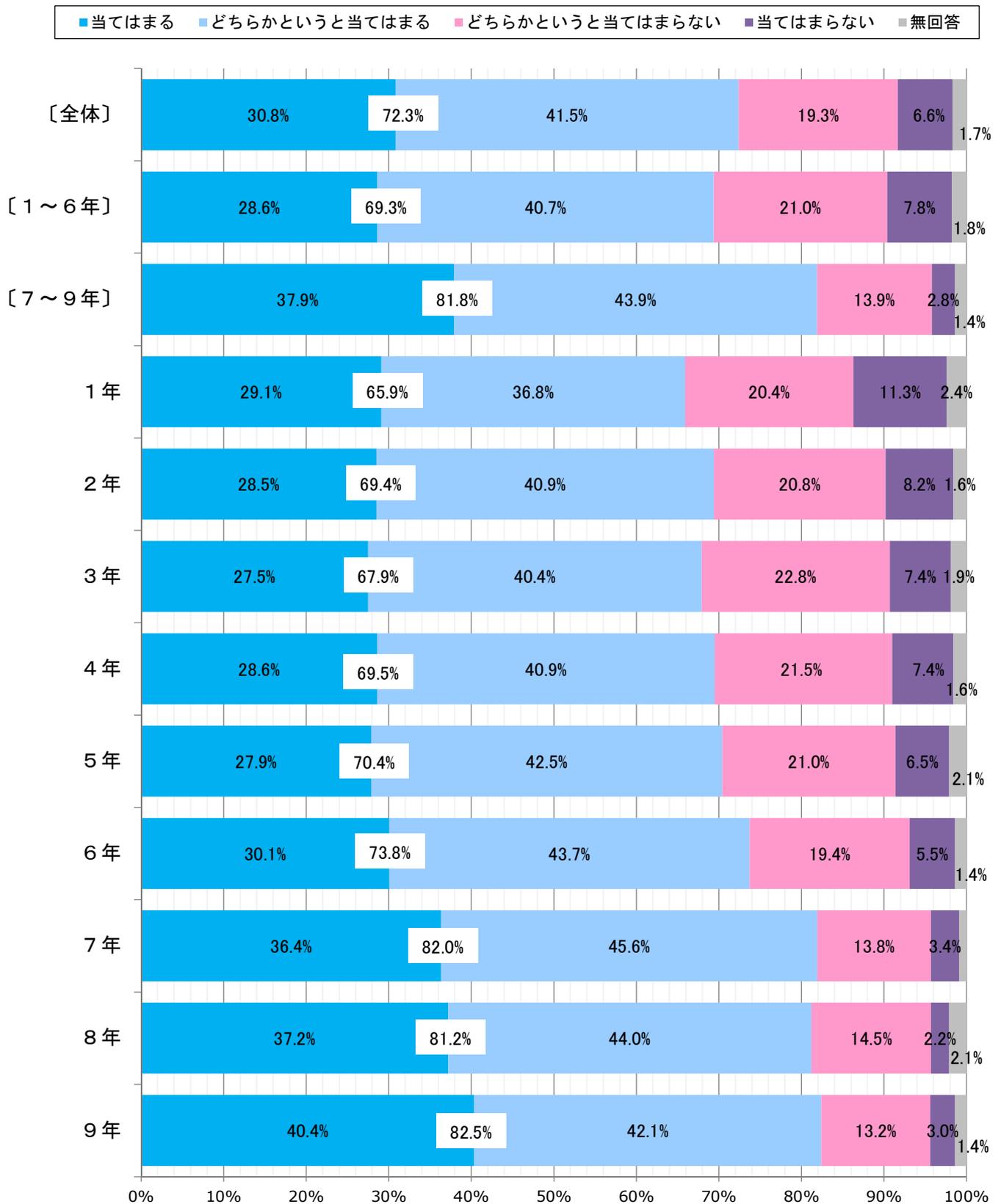


### 〔7～9年〕



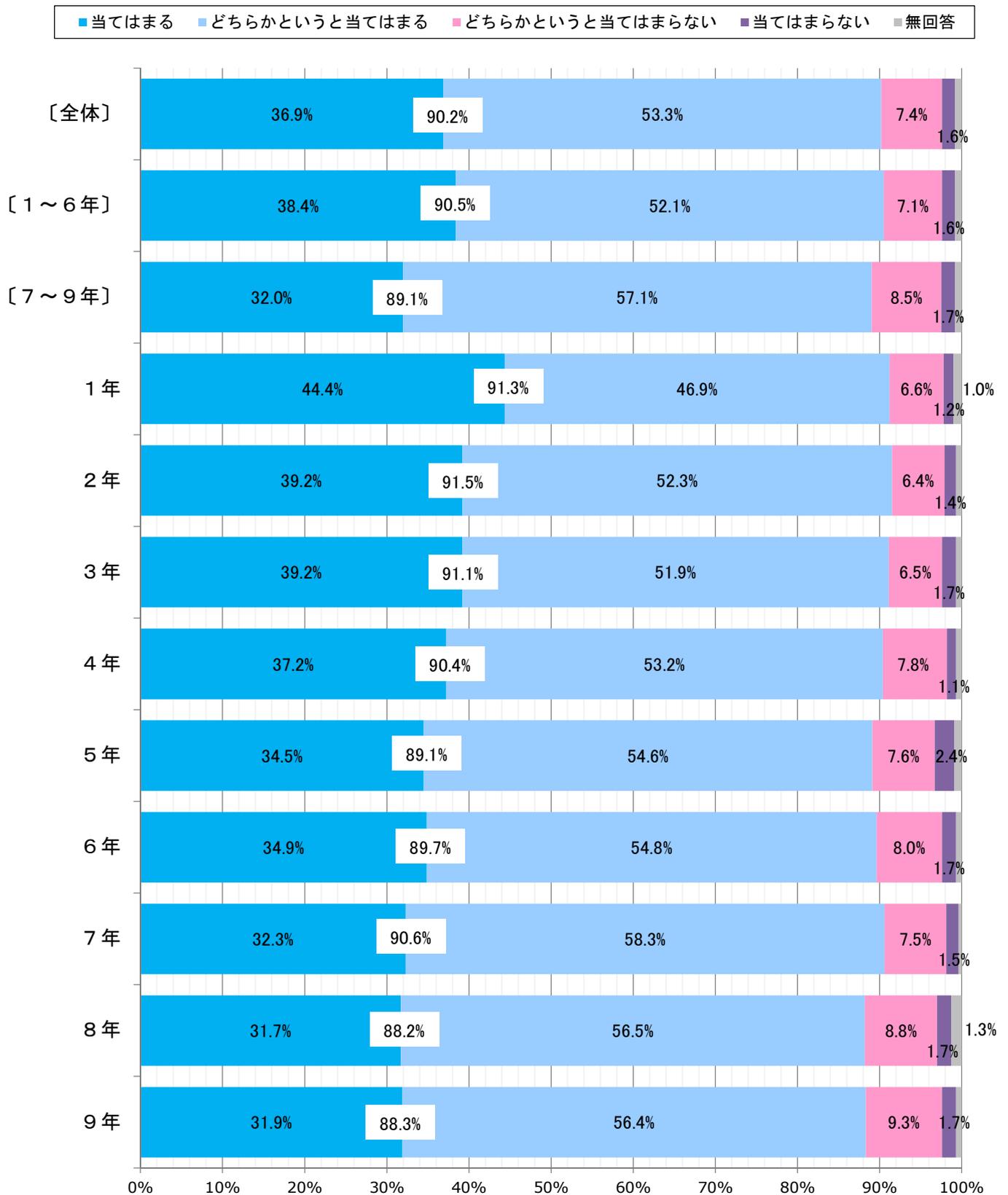
〔1～6年〕、〔7～9年〕ともに「基礎学力をつけること」が最も高く、〔全体〕で70%を超える。次いで、「考える力や想像力・表現力をつけること」や「礼儀・規律や心の持ち方を学ぶこと」が高くなっている。

[21] お子さんの通っている学校は一貫教育を推進している。



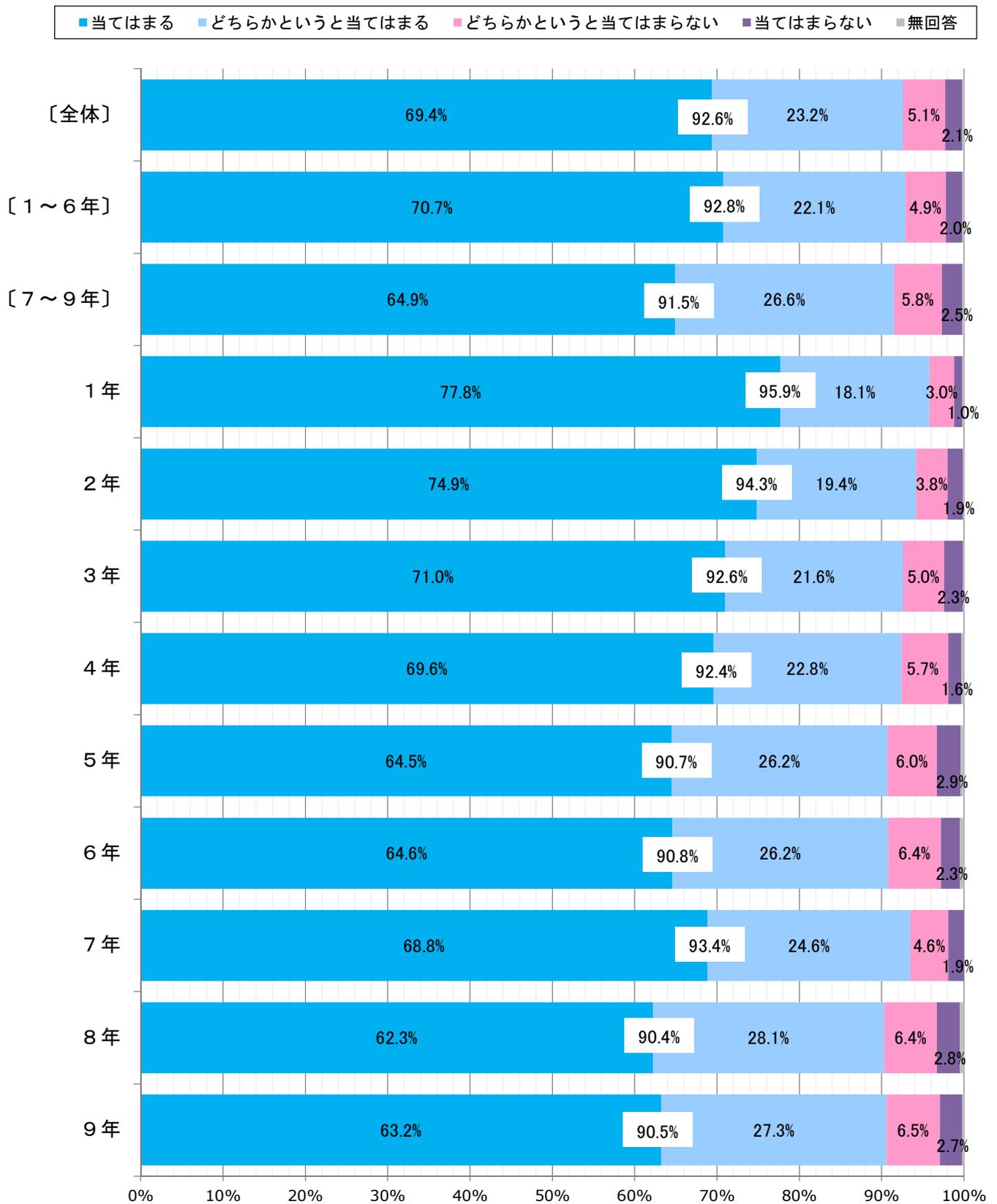
「子どもが通っている学校は一貫教育を推進している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で72.3%である。学年が上がるほど、「肯定的な回答」の割合が高くなる傾向がある。

[22] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



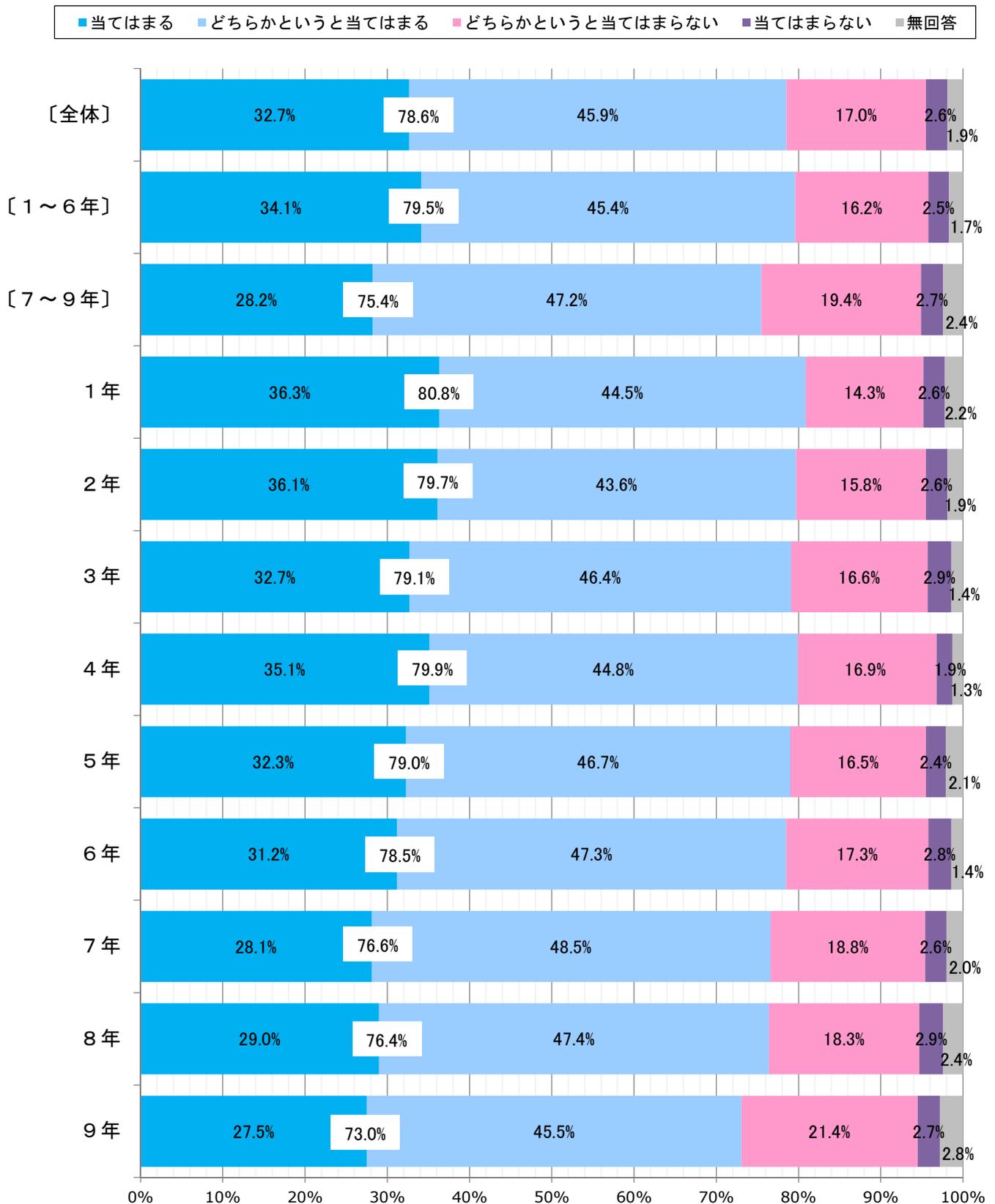
「独自教科である市民科は、良い学習だと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で90.2%であり、平成28年度の83.5%を上回った。全ての学年で「肯定的な回答」の割合は、88%を超えている。

[23] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



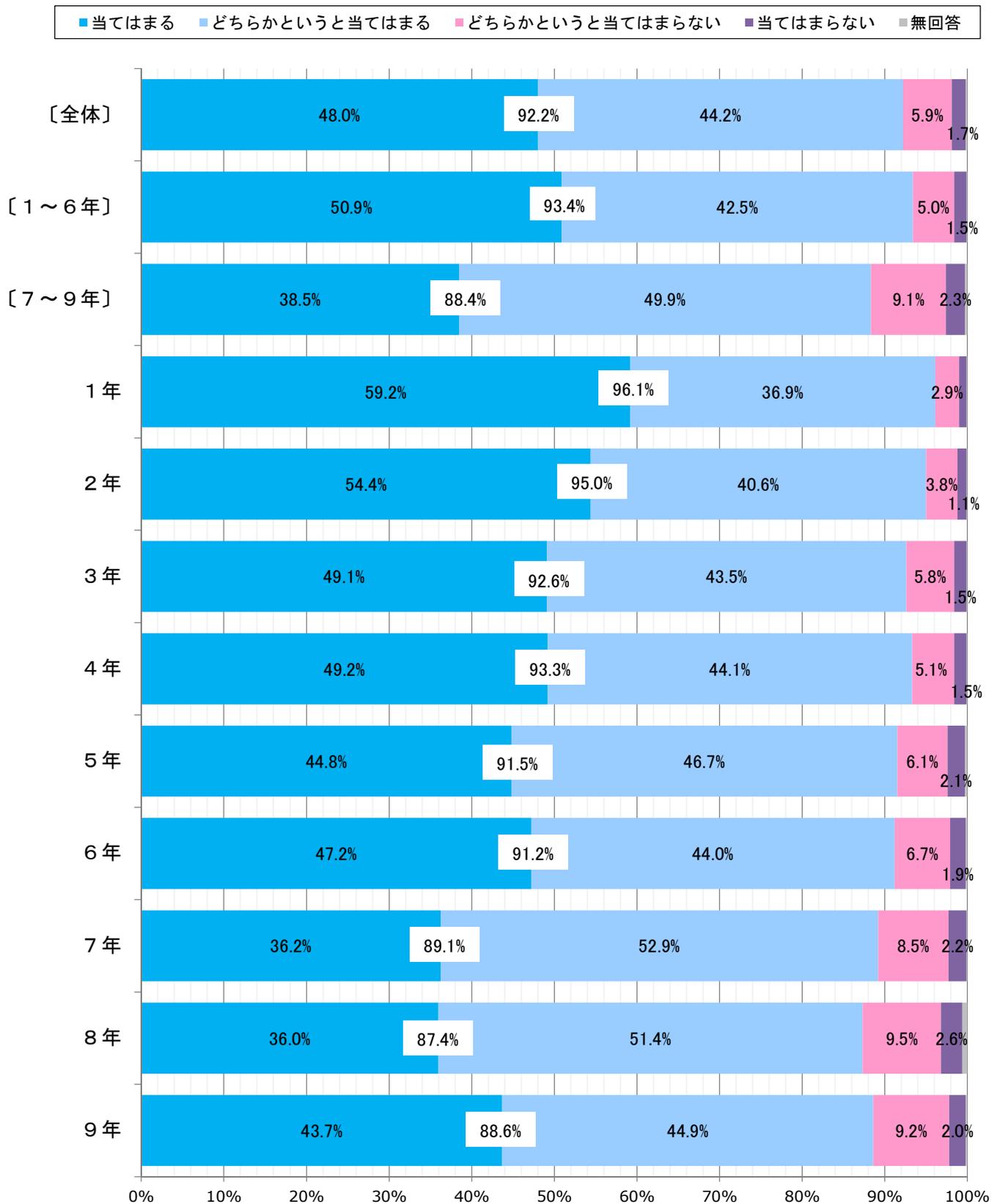
「1年生からの英語学習は良いことだと思う」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で92.6%である。また、全ての学年で「肯定的な回答」の割合が90%を上回った。

[24] お子さんの通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進している。



「子どもが通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で78.6%であり、全ての学年で「肯定的な回答」の割合が70%を上回っている。また、平成29年度オリンピック・パラリンピック教育アワード校では、「肯定的な回答」の割合が95%を超えている。

[25] 現在通っている学校に満足している。



「現在通っている学校に満足している」と「肯定的な回答」をした家庭は、〔全体〕で92.2%である（平成28年度 91.0%）。

# 平成29年度児童・生徒アンケートの結果

## 平成29年度児童・生徒アンケートの概要

### 【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

### 【対象者】

品川区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

### 【調査期間】

平成30年1月24日（水）から平成30年2月2日（金）まで

### 【調査方法】

質問紙調査（無記名）

### 【配布数および回答率等】

配布数 17,177      回答数 16,354（内、有効回答数 16,227）      回答率 95.2%

## 注 記

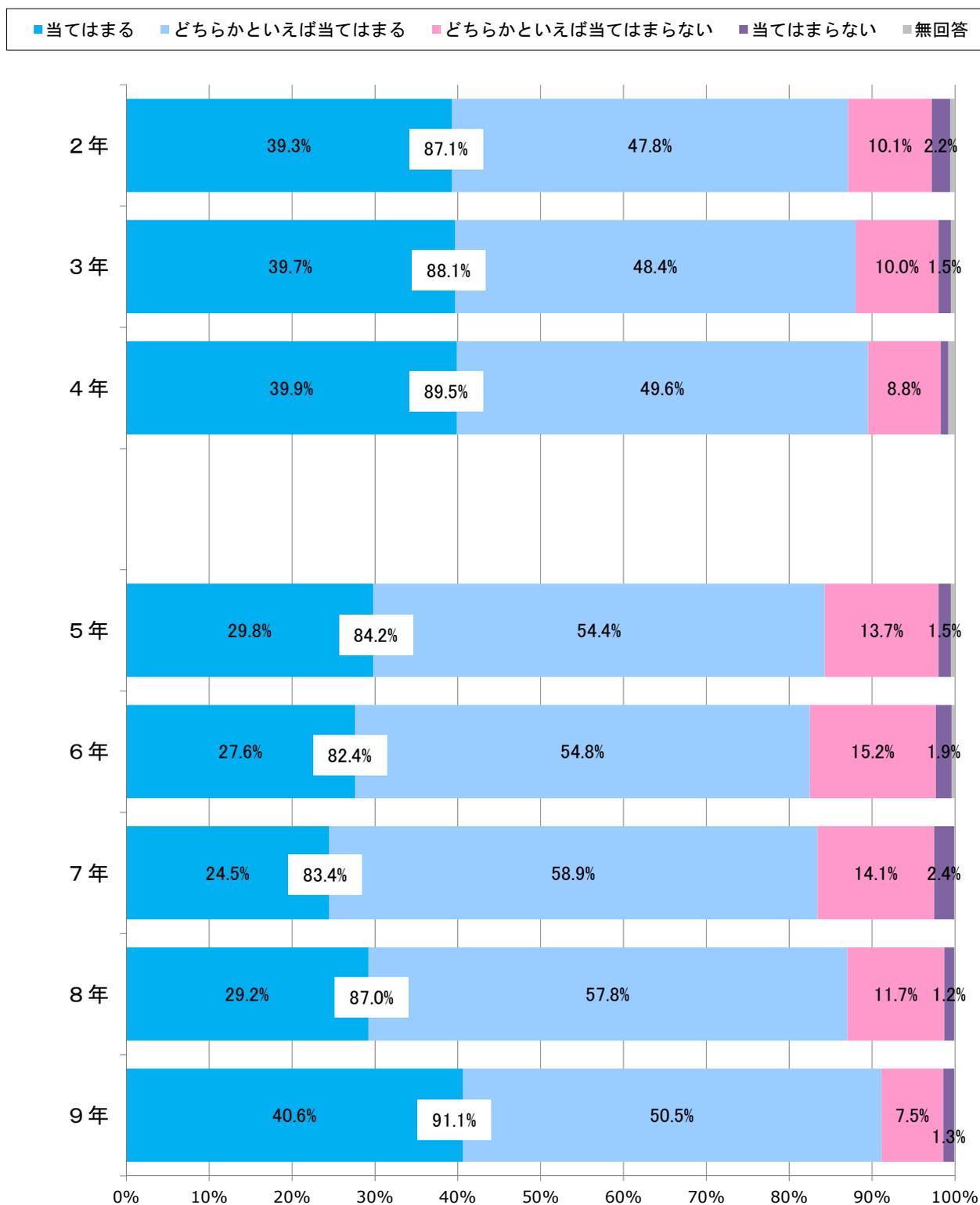
1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の「肯定的な回答」は、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」、「とても興味がある」と「興味がある」、「ぜひ参加したい」と「参加したい」の合計である。

## [A. 学校や家での様子について]

### [1] [自己管理領域]

(2～4年) 自分のことは自分で行うようにしている。

(5～9年) 自分で判断し、責任をもって行動しようとしている。

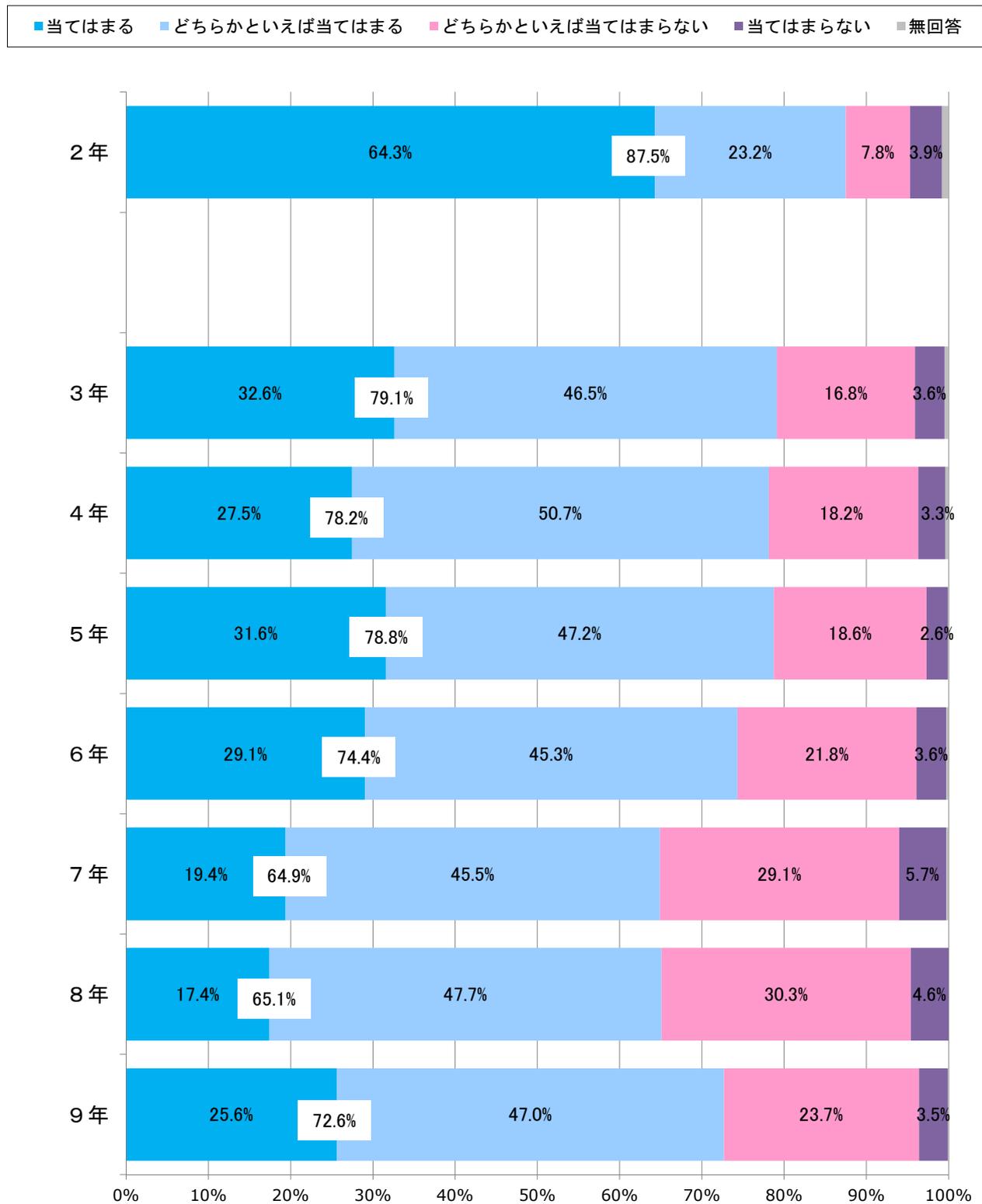


「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全ての学年において80%以上である。特に6年以上では、学年が上がるごとに「肯定的な回答」の割合が高くなり、9年では90%を超えている。

[2] [自己管理領域]

( 2年 ) 前の日のうちに、次の日の用意をしている。

(3～9年) 自分の予定を考えながら計画的に生活することができる。



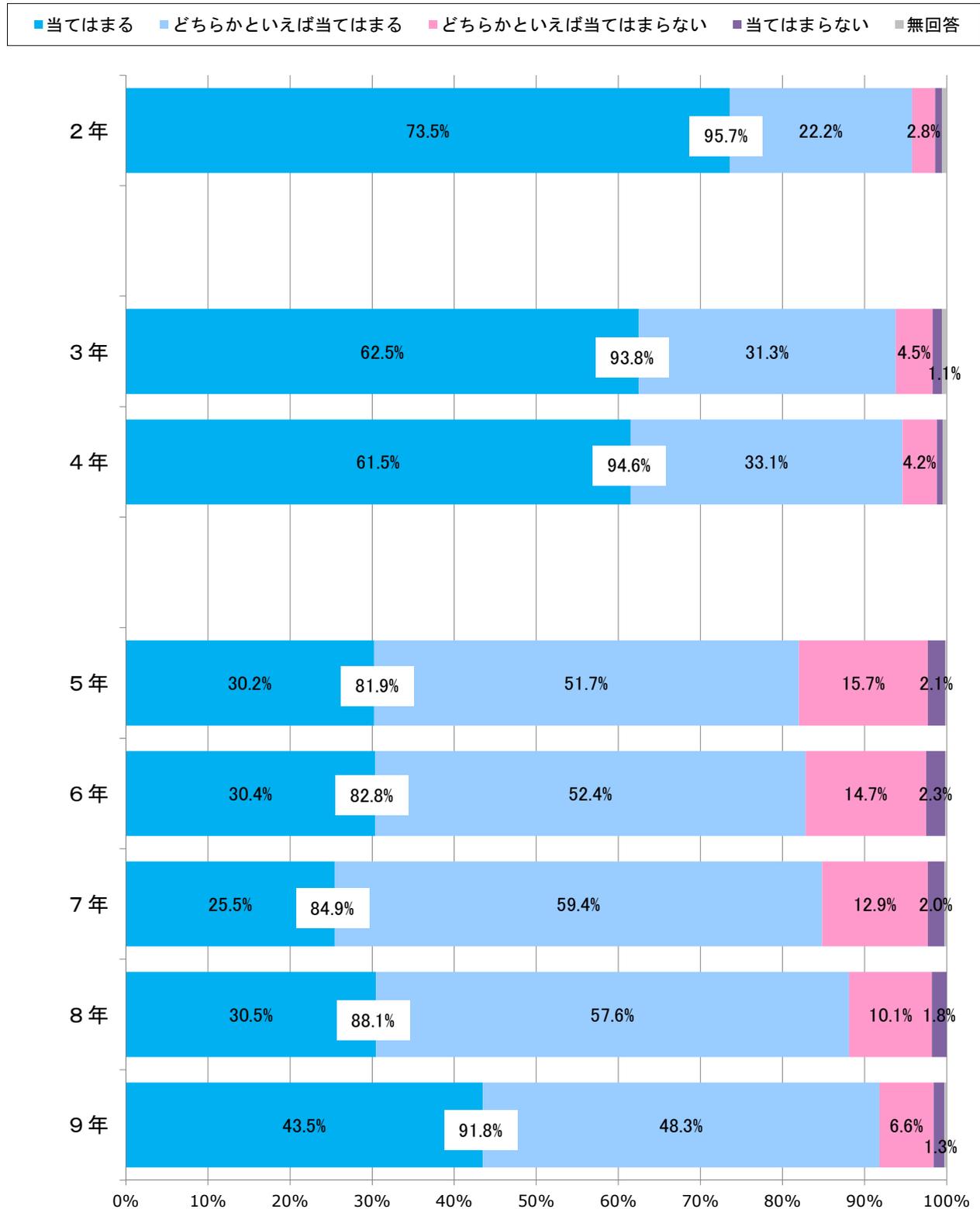
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、2～6年は70%を超えているが、7～9年は平均67.5%となっている。特に6年と7年とでは「肯定的な回答」の割合に9.5ポイントの差が見られる。なお、義務教育学校では6年71.2%、7年69.5%と差異が少ない(1.7ポイント)。

[3] [人間関係形成領域]

( 2年 ) 友達と仲良くすることができている。

( 3・4年 ) 友達の個性を認めて、仲良くすることができている。

(5～9年) 社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる。



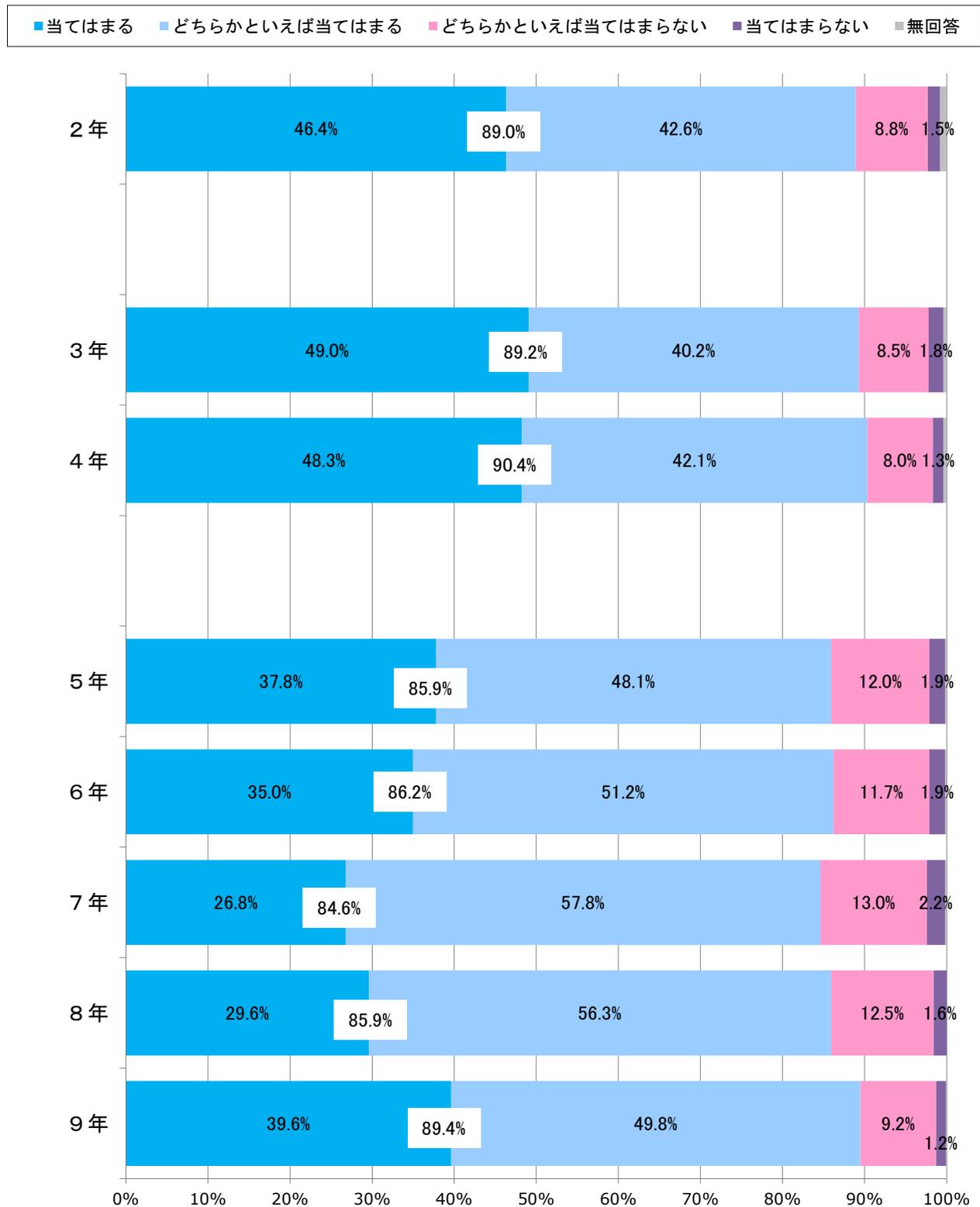
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全ての学年において80%以上であり、2～4年および9年では90%を超えている。また、その割合は5年以上では学年が上がるごとに高くなり、特に8年から9年にかけては、3.7ポイント増加している。

[4] [人間関係形成領域]

(2年) 人の目を見て話をしたり、聞いたりすることができる。

(3・4年) 自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる。

(5～9年) 自分の考えを適切に相手に伝えたり、友達の考えを理解したりしながら、人間関係を築くことができる。



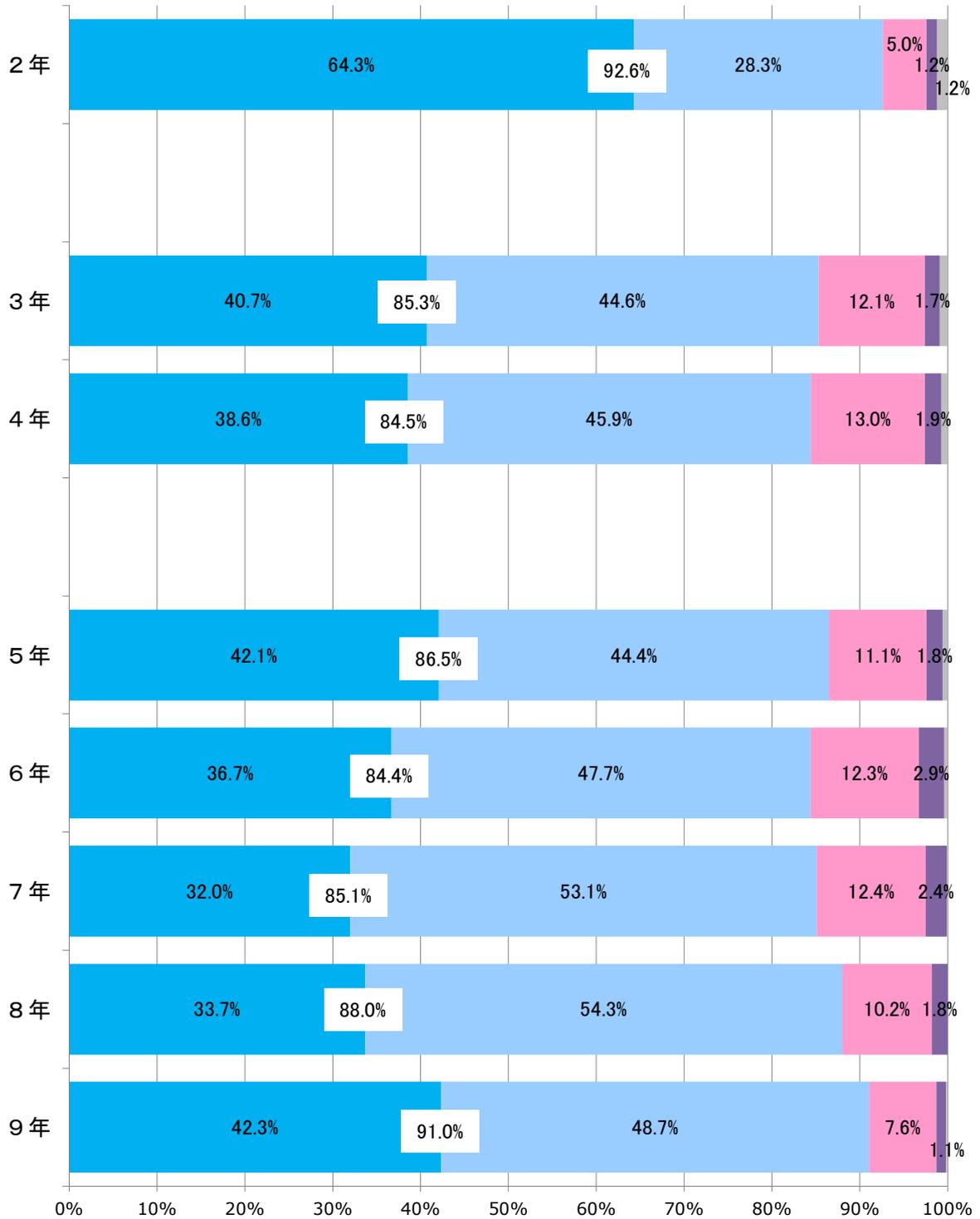
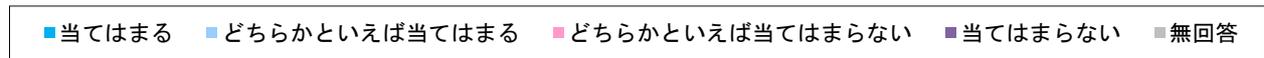
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全ての学年において80%以上である。2～4年は、話したり聞いたりするときの態度について、5年以上は人間関係について回答していると考えられる。「肯定的な回答」は、6年から7年にかけて若干下がるが、7年以降、学年が上がるごとに高くなっている。

[5] [自主的活動領域]

( 2年 ) 係の仕事をしっかりできる。

( 3・4年 ) 学級の目標の達成に向け、自分のできることを行うことができる。

( 5～9年 ) 自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる。



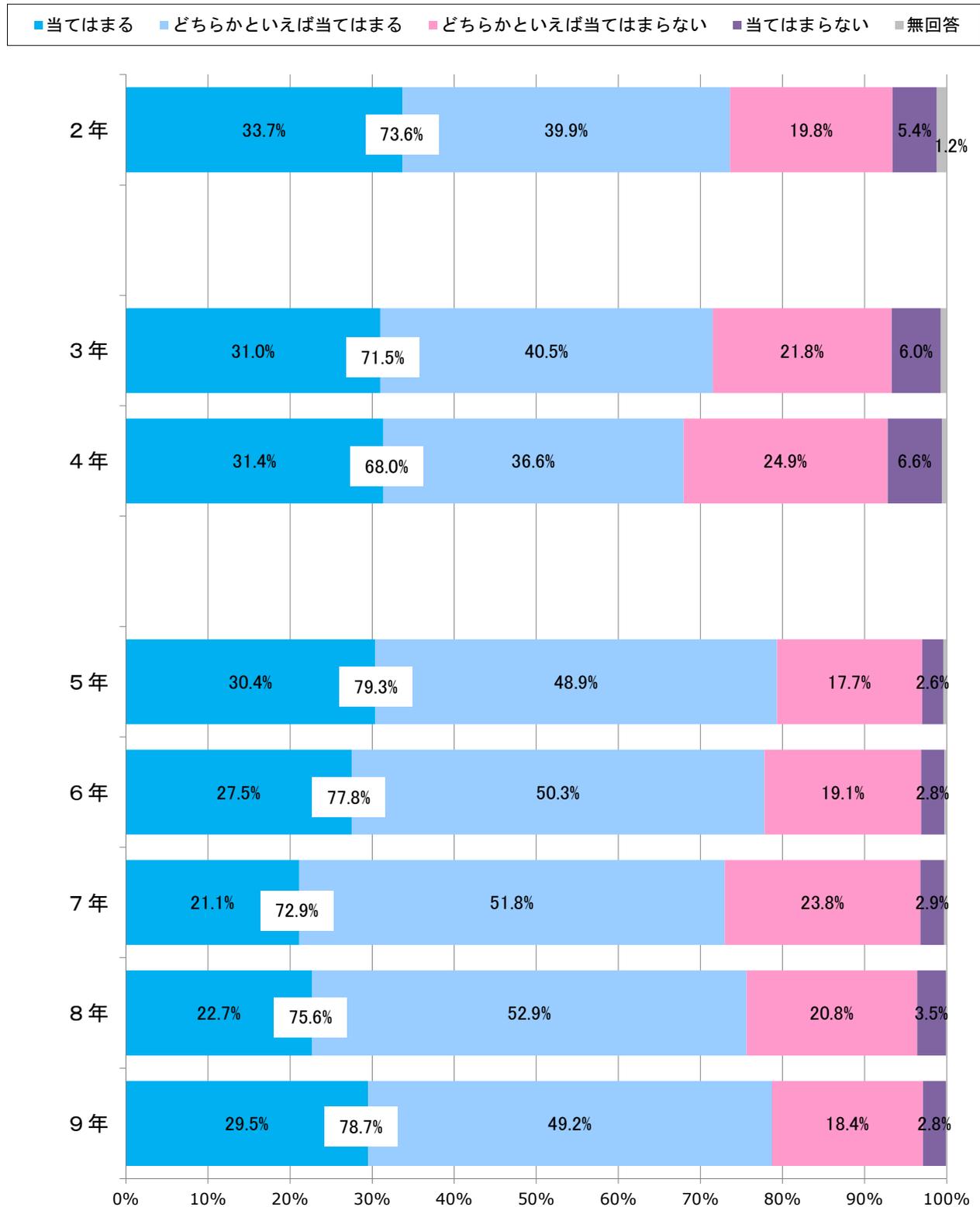
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全ての学年において80%以上である。6年以降、学年段階に応じて「肯定的な回答」の割合は増加しており、9年では91.0%に上る。

[6] [自治的活動領域]

( 2年 ) 良いクラスをつくるため、話し合いで意見を言える。

( 3・4年 ) 学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる。

( 5～9年 ) 学級などの集団で活動するときに、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。



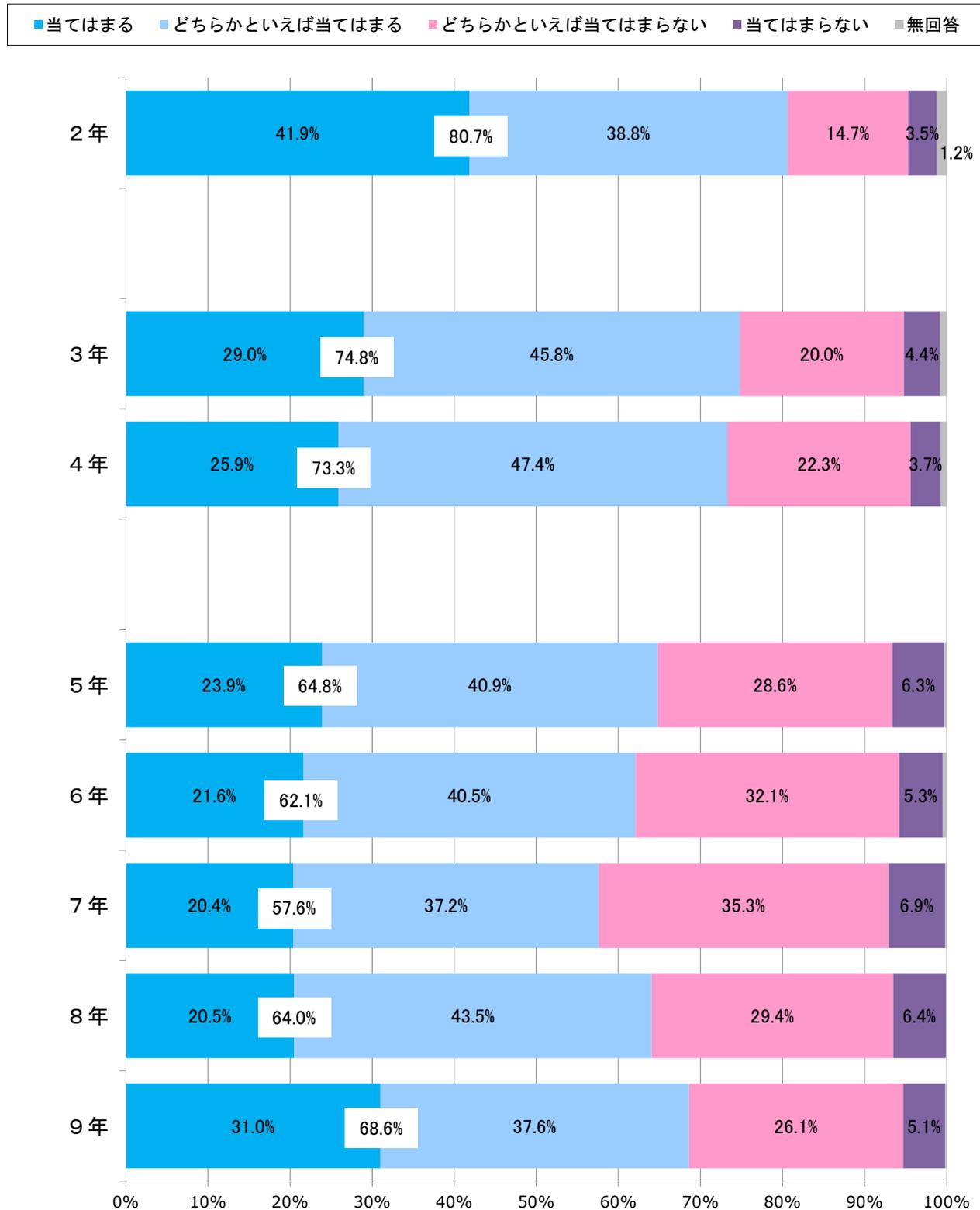
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全ての学年において概ね70%以上である。7年以降、「肯定的な回答」の割合は、学年が上がるごとに増加する傾向にあるが、6年の77.8%に比べ、7年では72.9%と4.9ポイント低くなっている。

[7] [文化創造領域]

( 2年 ) クラスや学校の発表会で工夫して発表している。

( 3・4年 ) 自分の思いや考えを分かりやすく伝えるために工夫することができる。

(5～9年) 学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる。



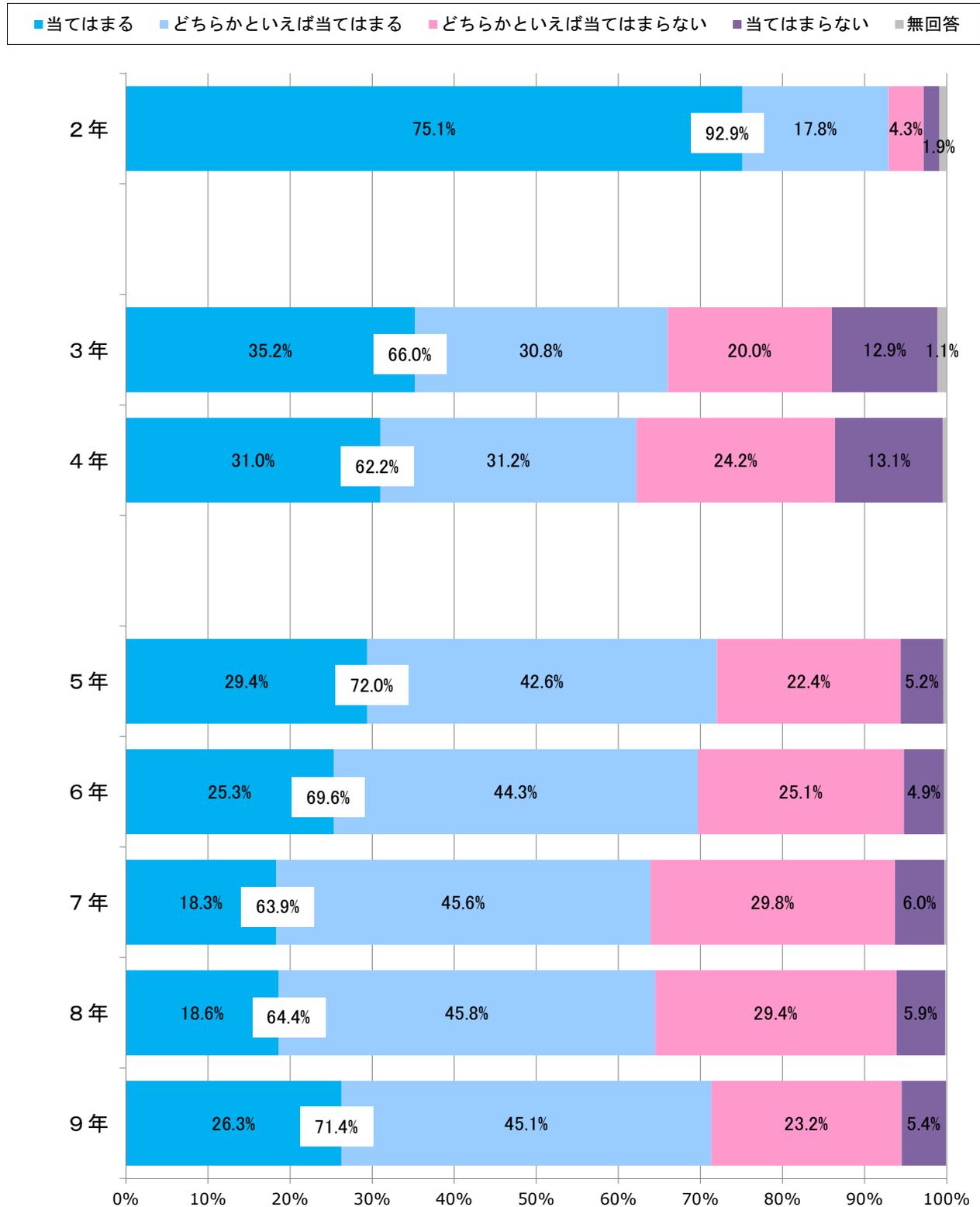
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、7年で57.6%と最も低くなり、その後、学年段階に応じて増加している。9年では、8年の64.0%に比べ、4.6ポイント高くなっている。

[8] [文化創造領域]

( 2年 ) 季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う。

( 3・4年 ) 地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している。

(5～9年) 学校や地域、我が国や諸外国の伝統文化について、理解を深めようとする事ができる。



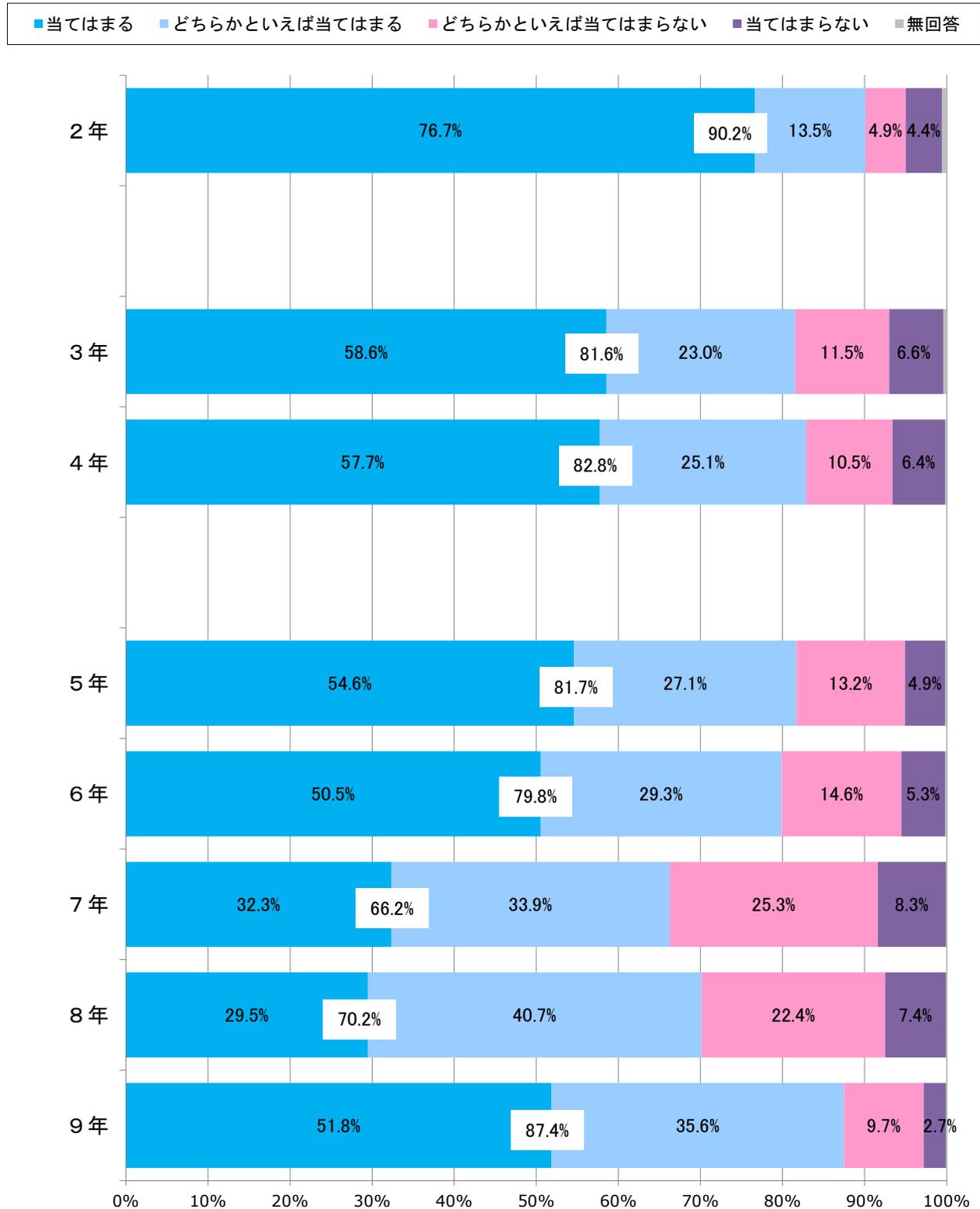
5～9年において「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、7年が最も低く63.9%であり、6年に比べ5.7ポイント低くなっている。8年では微増に転じ、9年では8年に比べ7.0ポイント高くなっている。

[9] [将来設計領域]

( 2年 ) 将来なりたい仕事ややりたいことがある。

( 3・4年 ) 将来なりたい職業ややりたいことがあり、そのために努力していることがある。

(5～9年) 将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している。

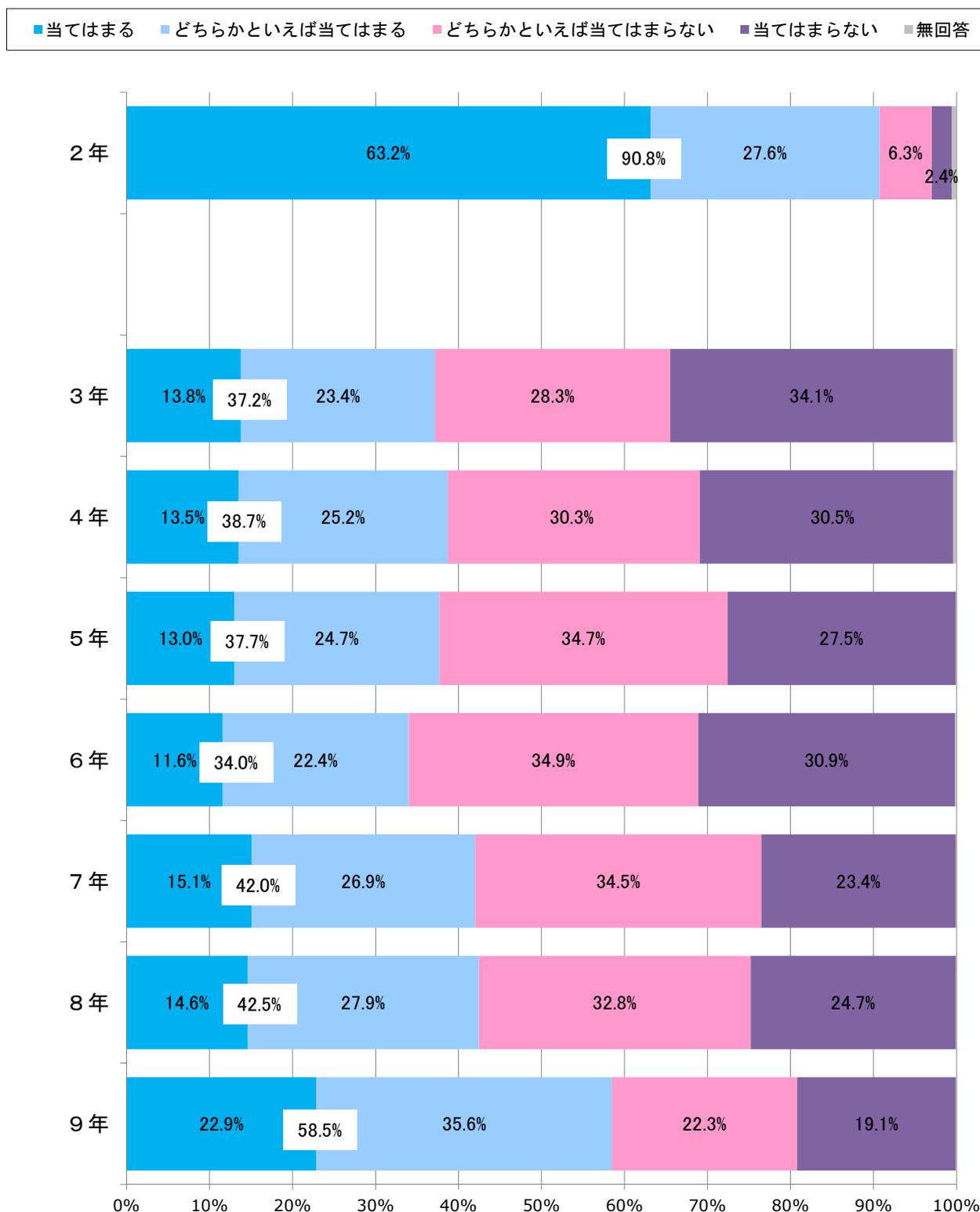


「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、6年の79.8%に比べ、7年では66.2%と13.6ポイント低くなっている。また、8年では70.2%であるのに対し、9年では87.4%と17.2ポイント高い。

[10] [将来設計領域]

( 2年 ) みんなのために働くのは楽しいと思う。

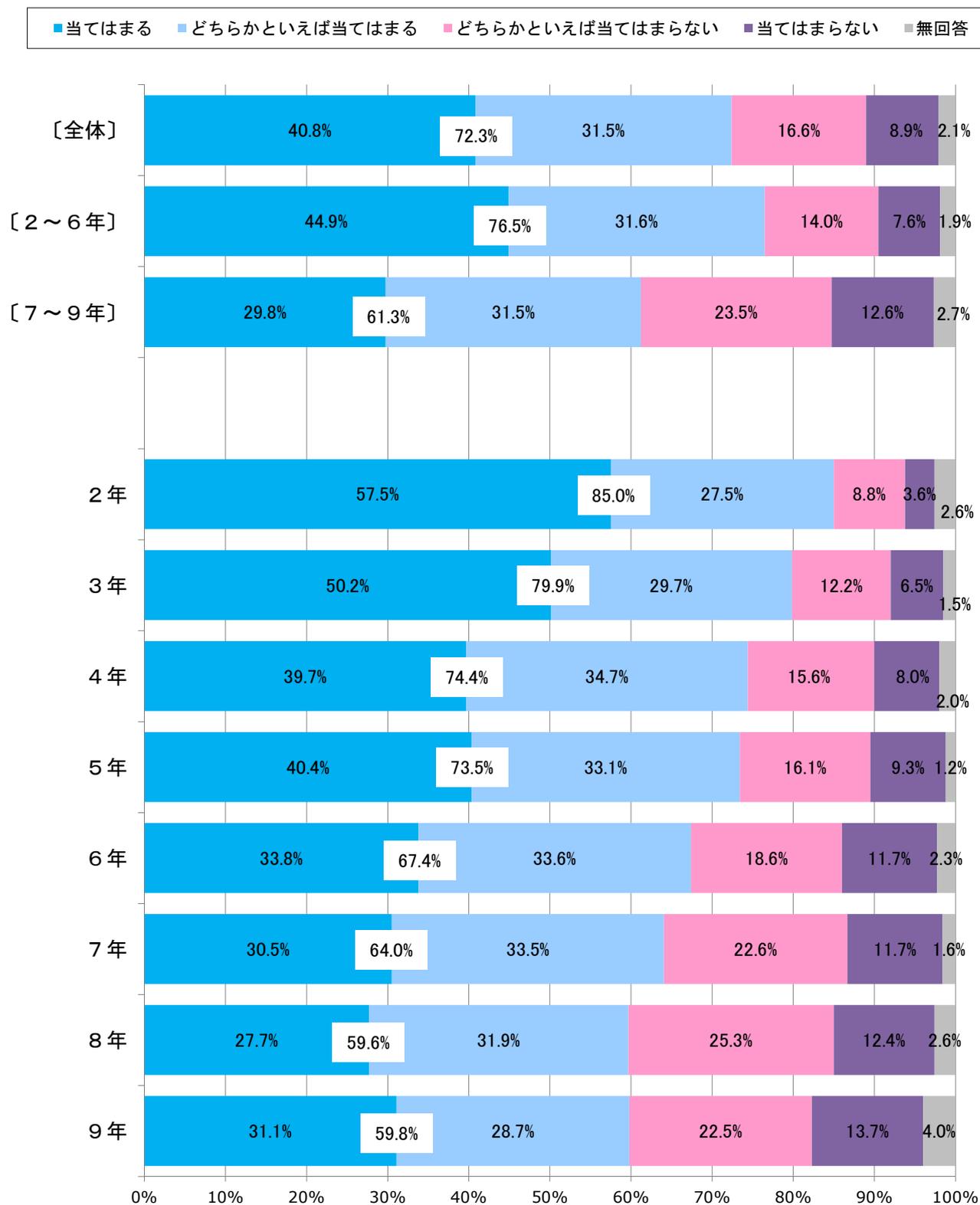
(3~9年) ボランティア活動などに参加している。



「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、3~8年では大きく変化しないが、9年になると急激に高くなる。特に義務教育学校では、「肯定的な回答」の割合が、6年では34.2%であるのに対し、9年が63.7%と、29.5ポイント増加しており、9年での伸びが大きい。

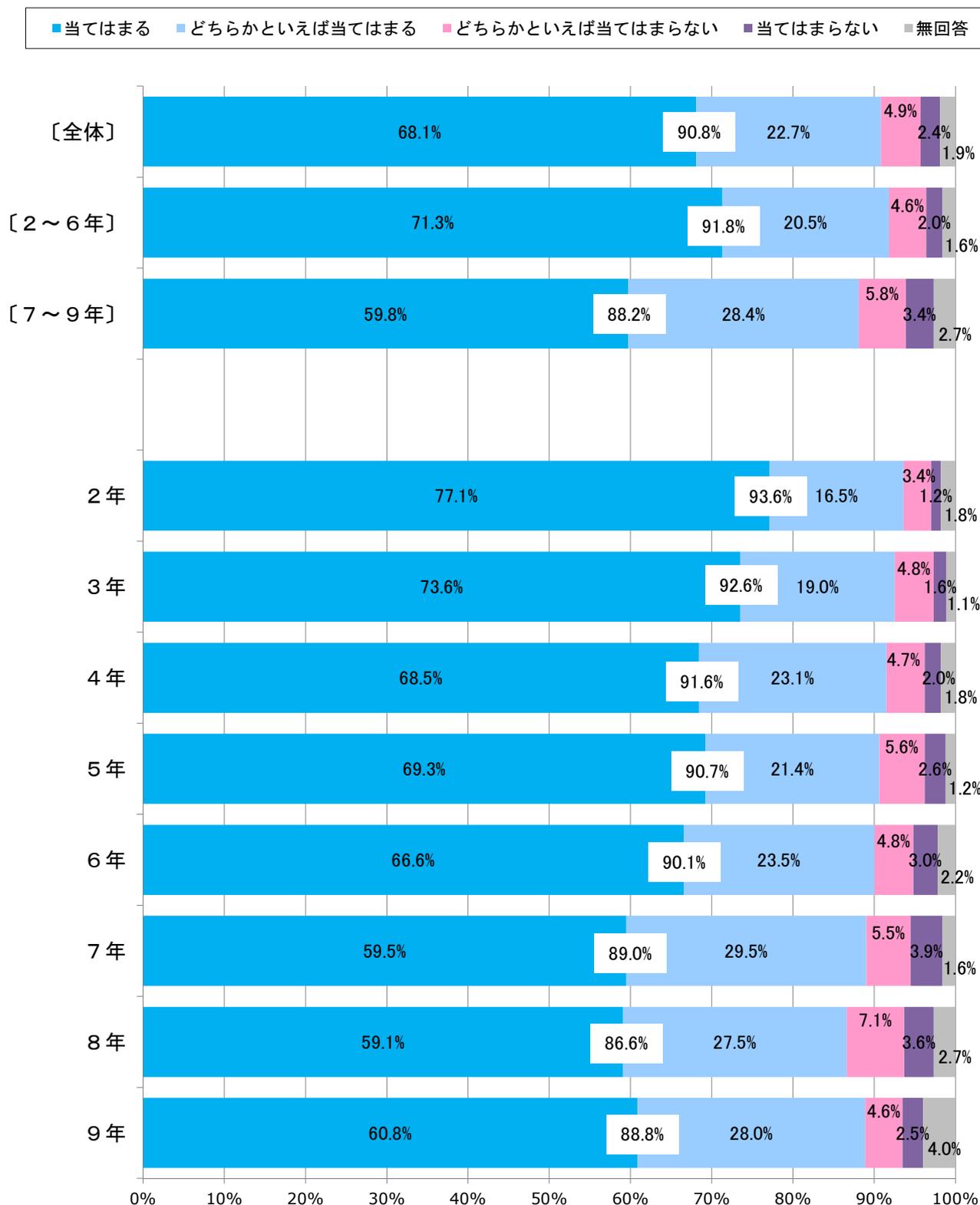
## [B. 英語の学習について]

[11] 英語の学習は好きである。



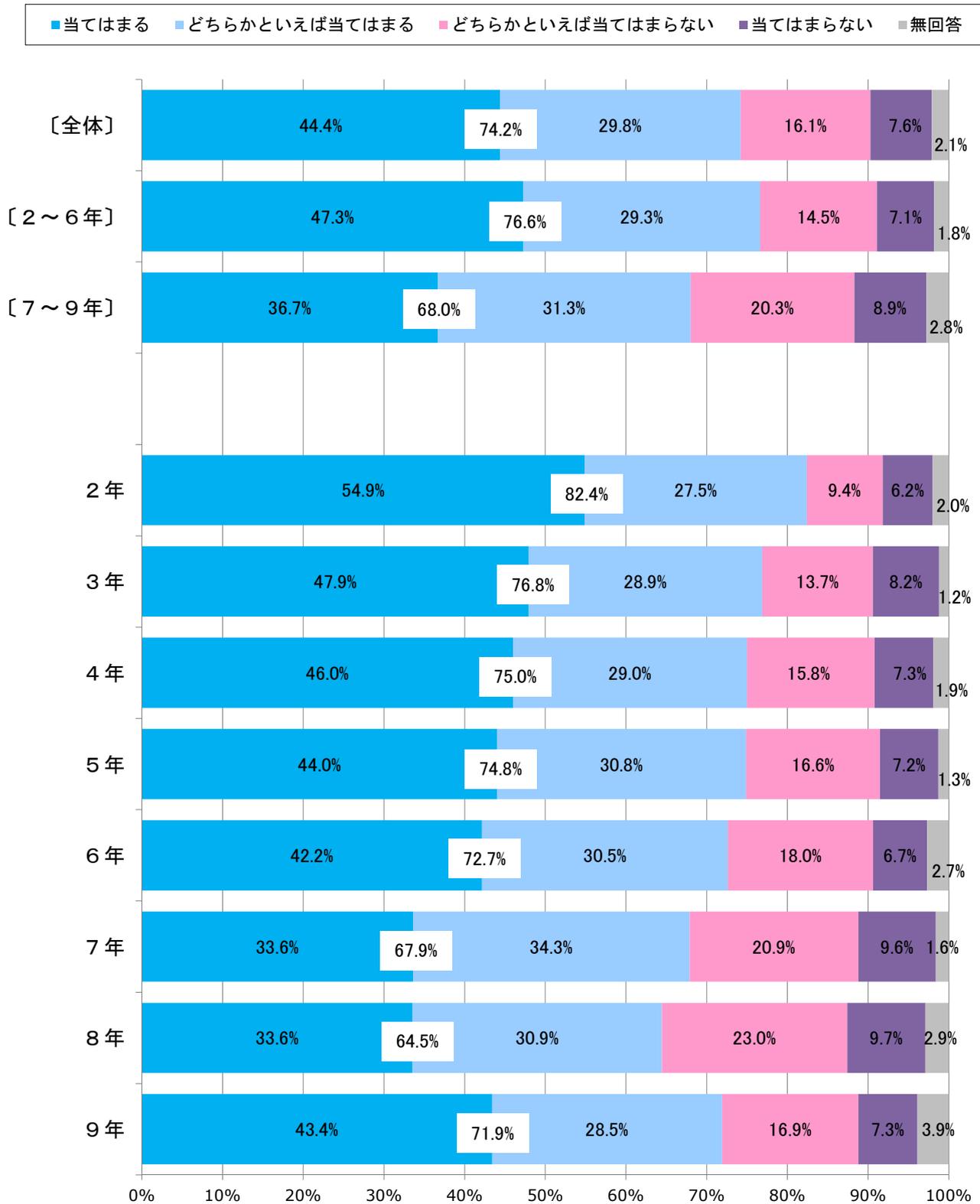
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、〔全体〕で70%を超える。〔2～6年〕は76.5%、〔7～9年〕は61.3%である。  
 「当てはまる」の割合は、おおむね学年が上がるごとに低くなる傾向があるが、9年で31.1%と上昇している。

[12] 英語の学習は大切だと思う。



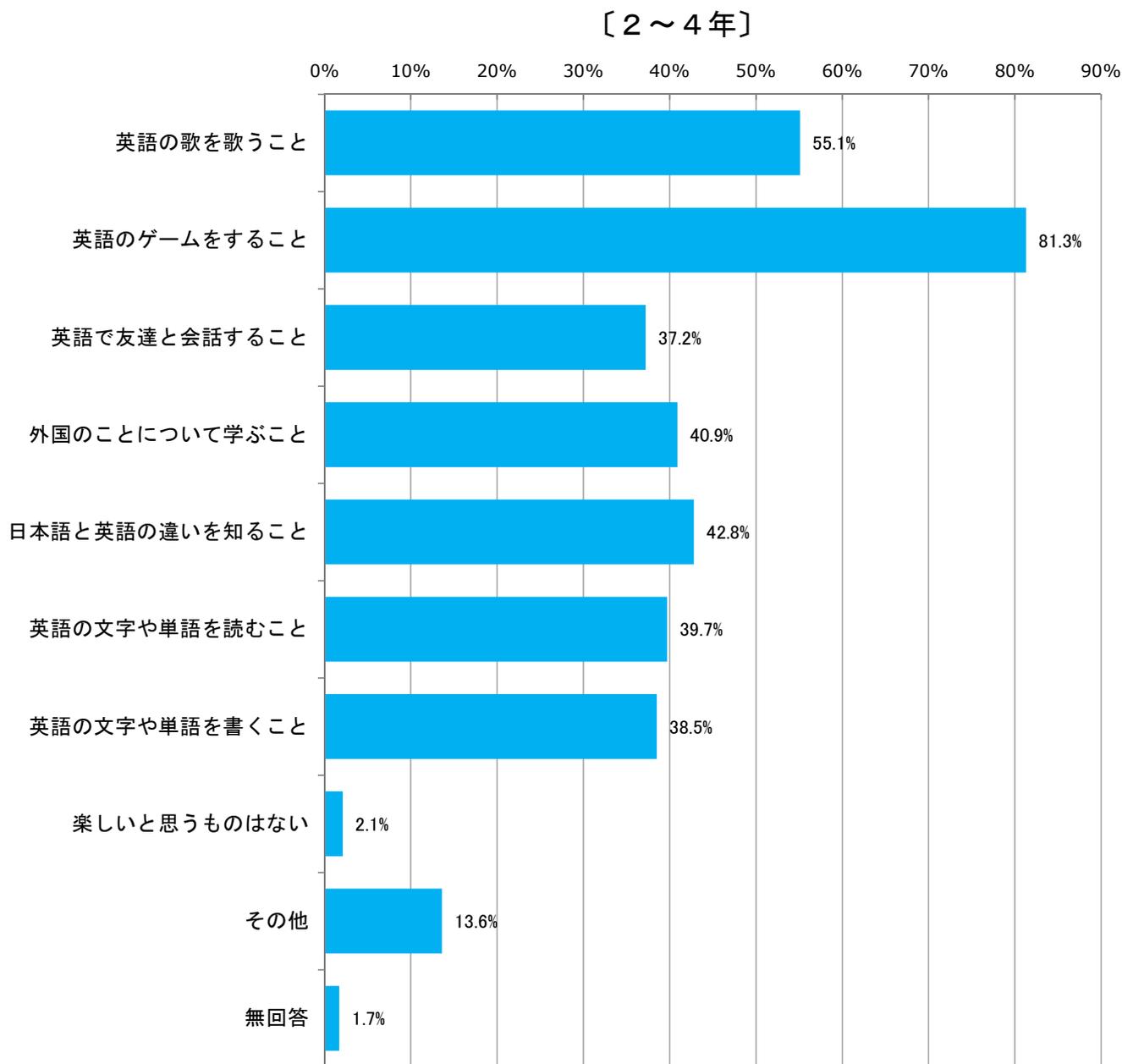
「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、〔全体〕で90.8%であり、〔2～6年〕は91.8%、〔7～9年〕は88.2%である。

[13] 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う。



「肯定的な回答」をした児童・生徒は、〔全体〕で70%を超えるが、学年が上がるにつれて、その割合が低くなる傾向がある。なお、8年が64.5%であるのに比べ、9年は71.9%と7.4ポイント上昇している。

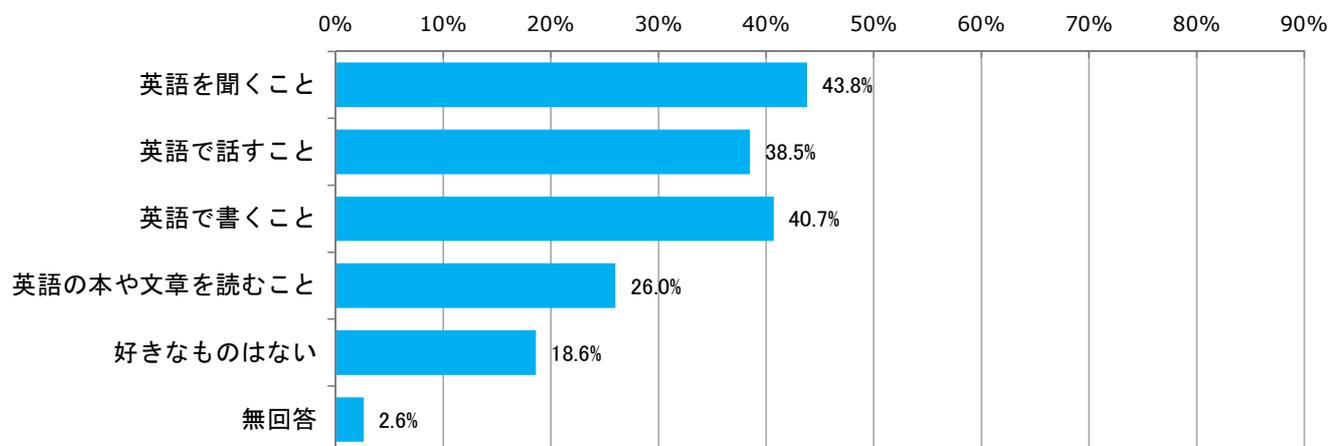
[14] 英語の授業で楽しいと思うことはどのようなものですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(2～4年生のみ)



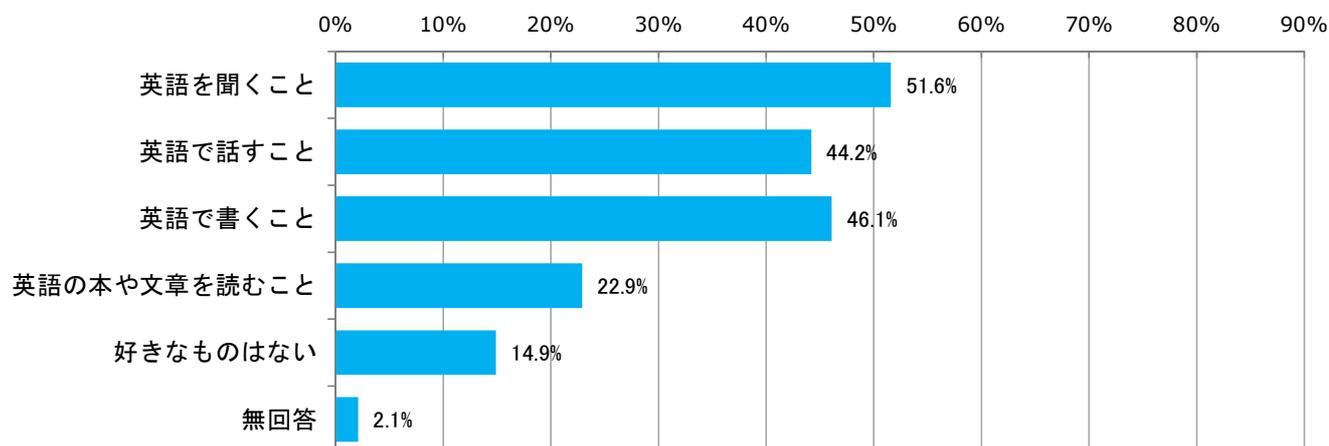
複数回答であるが、「英語の授業で楽しいと思うこと」は、「英語のゲームをすること」が81.3%と最も高く、次いで「英語の歌を歌うこと」が55.1%である。なお、「楽しいと思うものはない」と回答したのは2.1%である。

[15] 英語の授業で好きなものはなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。  
(5～9年生のみ)

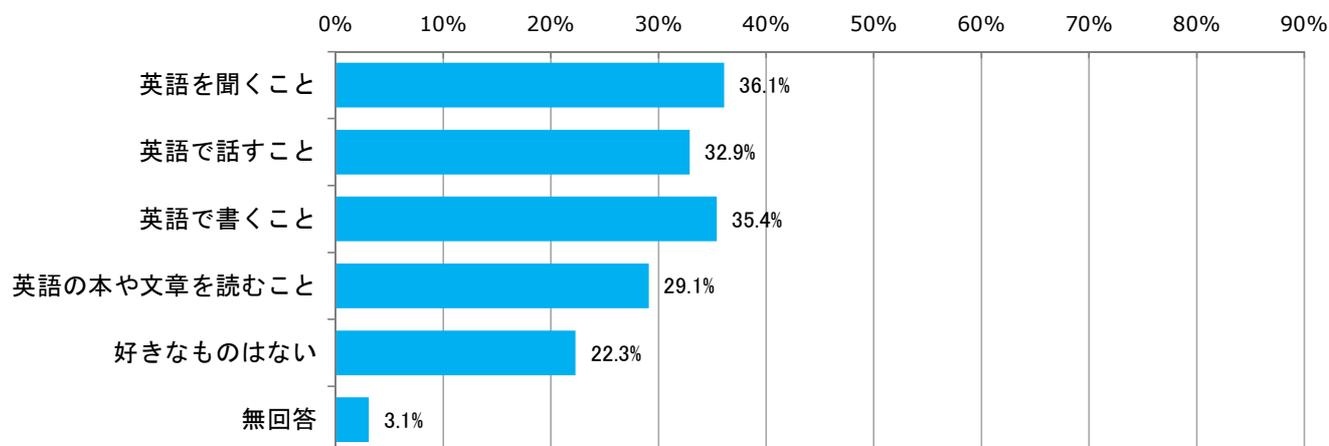
[全体]



[5・6年]



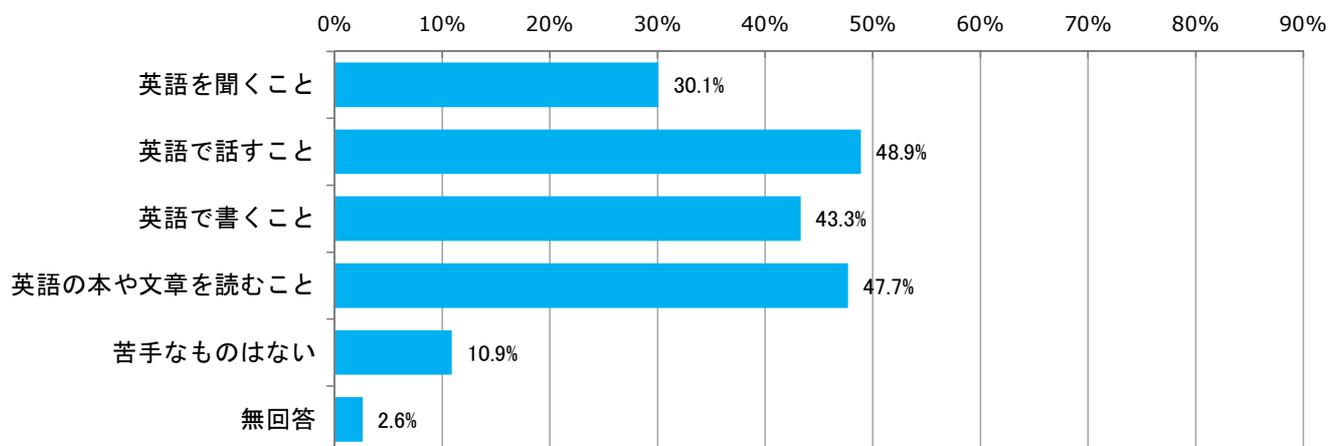
[7～9年]



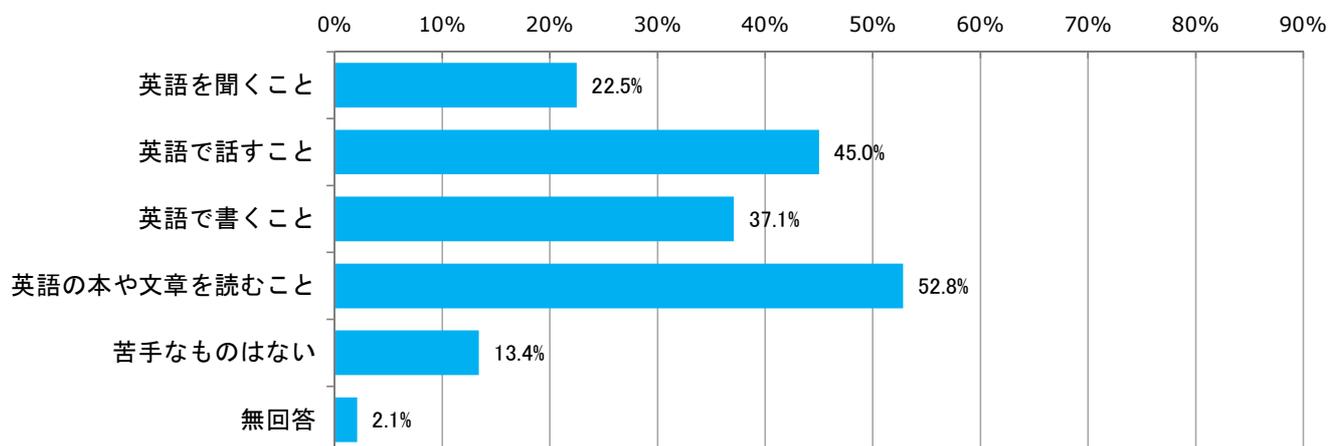
複数回答であるが、「英語を聞くこと」「英語で話すこと」「英語で書くこと」が好きであると回答した割合は、〔全体〕でそれぞれ40%程度である。〔5・6年〕では「英語を聞くこと」が好きであると回答している児童が50%を超えているが、〔7～9年〕では36.1%と15.5ポイント減少している。

[16] 英語の授業で苦手なものはなんですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。  
(5～9年生のみ)

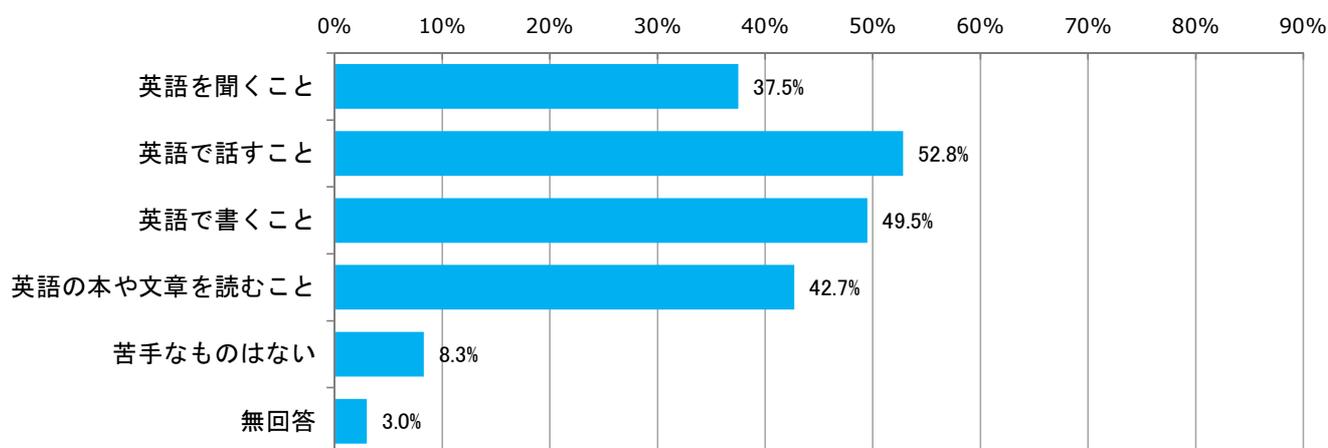
[全体]



[5・6年]

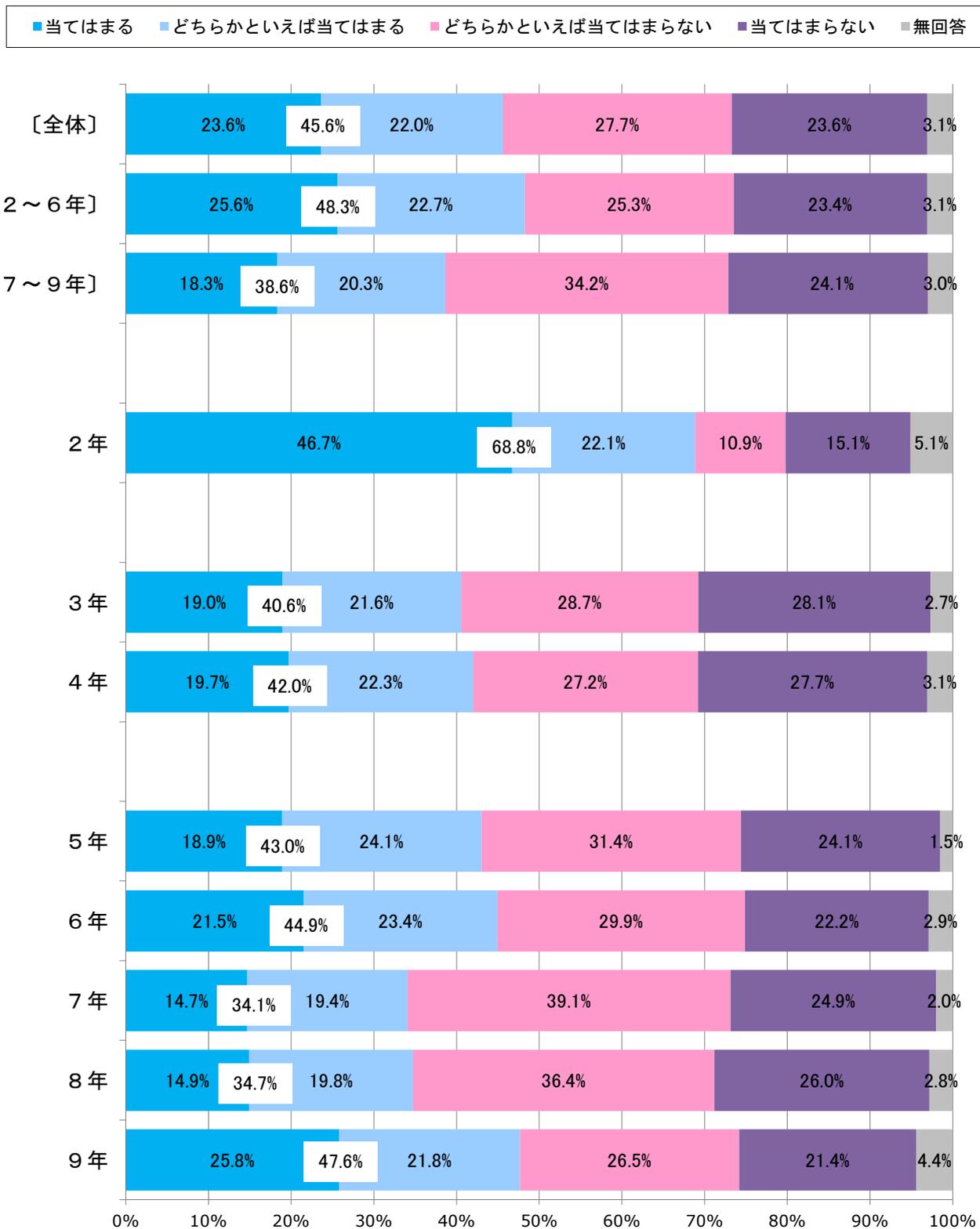


[7～9年]



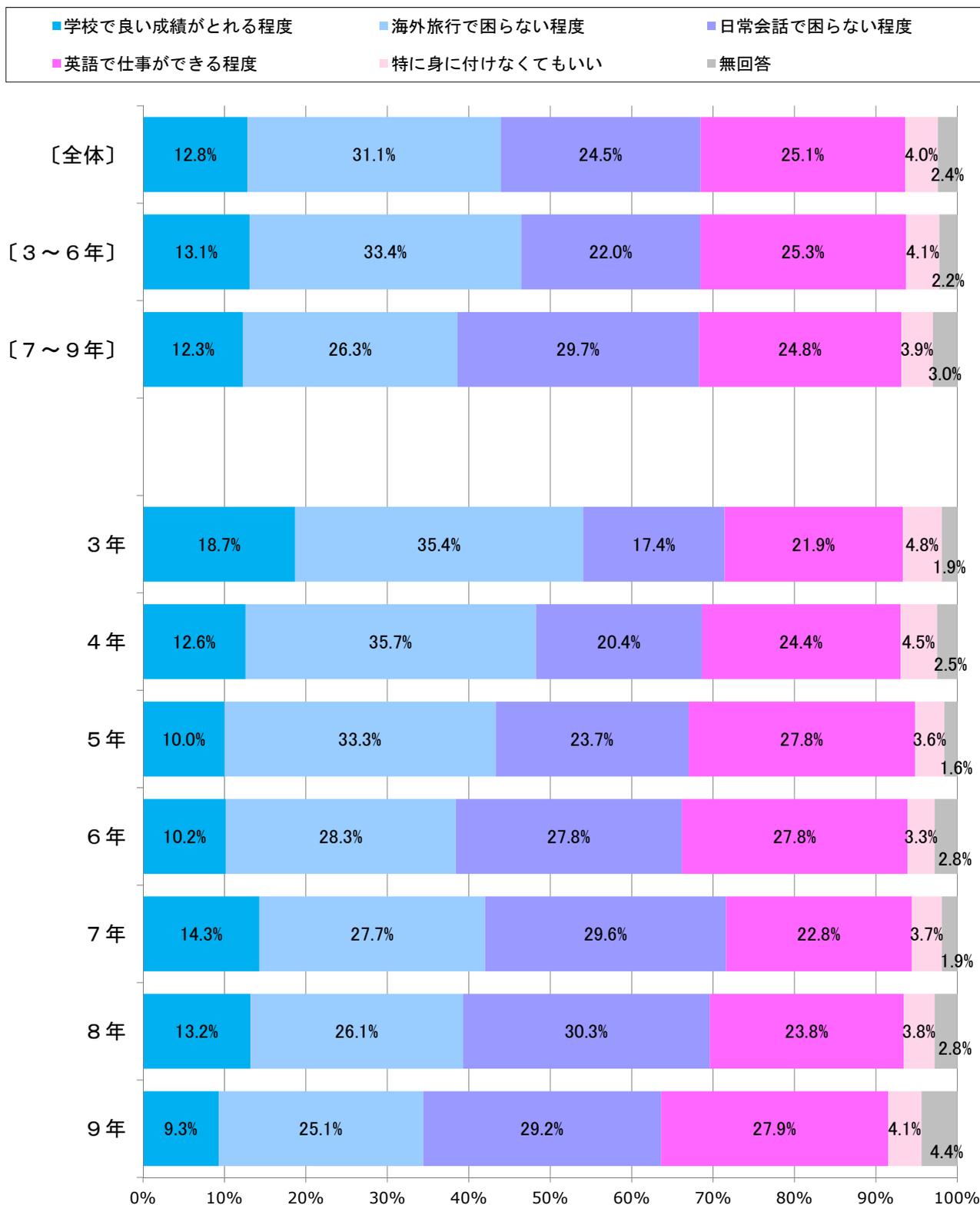
複数回答であるが、英語の授業で苦手なものとして、〔5・6年〕では「英語の本や文章を読むこと」、〔7～9年〕では「英語で話すこと」が挙げられており、それぞれ50%を超えている。

- [17] ( 2年 ) 将来、外国へ行ってみたいと思う。  
 ( 3・4年 ) 将来、外国へ留学したり、英語を使う仕事に就きたいと思う。  
 ( 5～9年 ) 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就きたいと思う。



3年以上で「肯定的な回答」をしている児童・生徒の割合は、9年が47.6%と最も高く、8年との差は12.9ポイントとなっている。

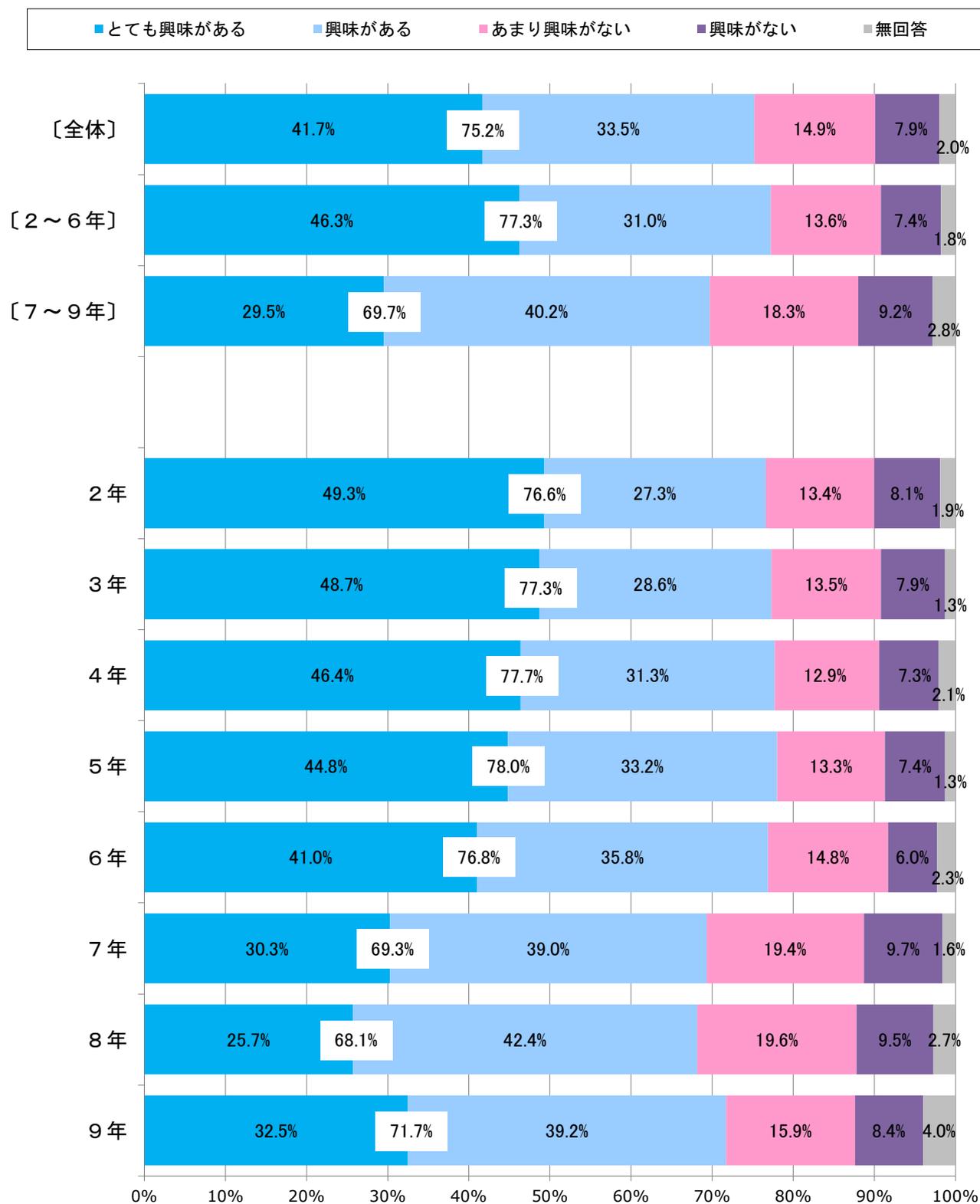
[18] あなたは将来、どのくらいの英語力を身に付けたいですか。(3～9年生のみ)



将来身に付けたい英語力の程度は、〔全体〕では「海外旅行で困らない程度」が31.1%と最も高い。〔3～6年〕では「海外旅行で困らない程度」が33.4%で、〔7～9年〕では「日常会話で困らない程度」が29.7%となっている。

## [C. オリンピック・パラリンピックについて]

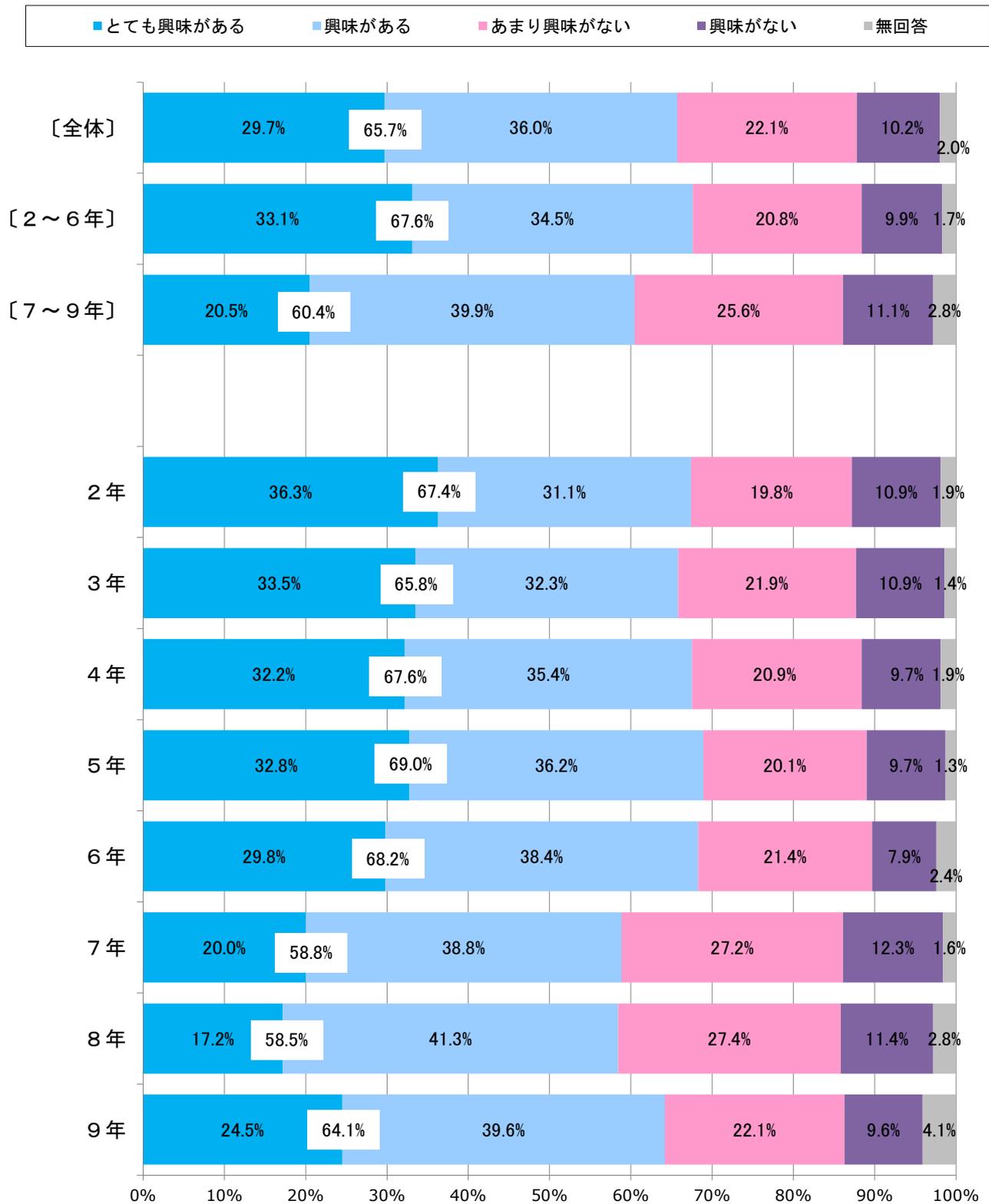
[19] オリンピックに興味がありますか。



「とても興味がある」「興味がある」と「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全体で75.2%である。

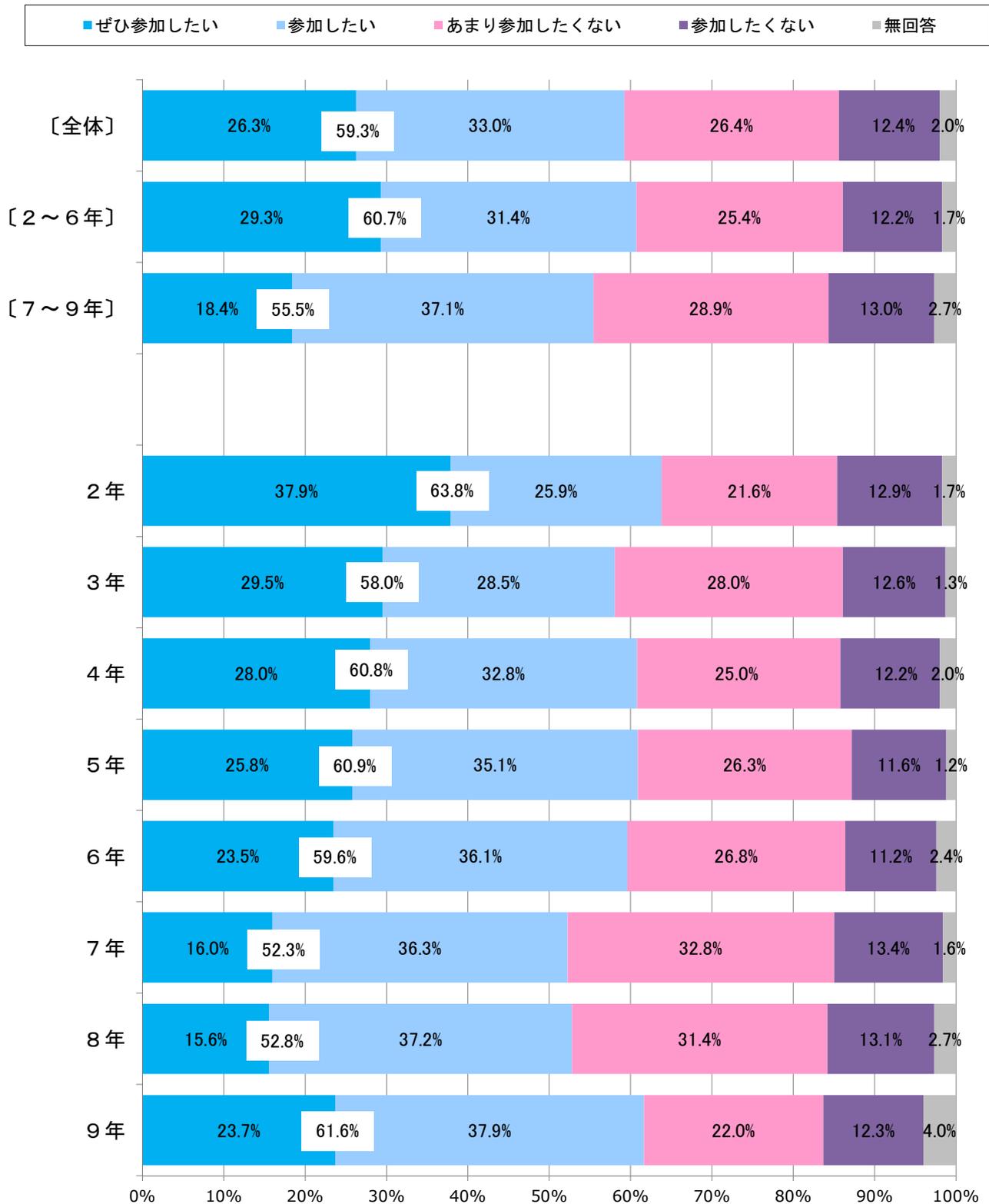
「肯定的な回答」の割合は、2～6年ではほとんど変わらないが、7年で60%台に下がり、9年で再び70%台に上昇している。

[20] パラリンピックに興味がありますか。



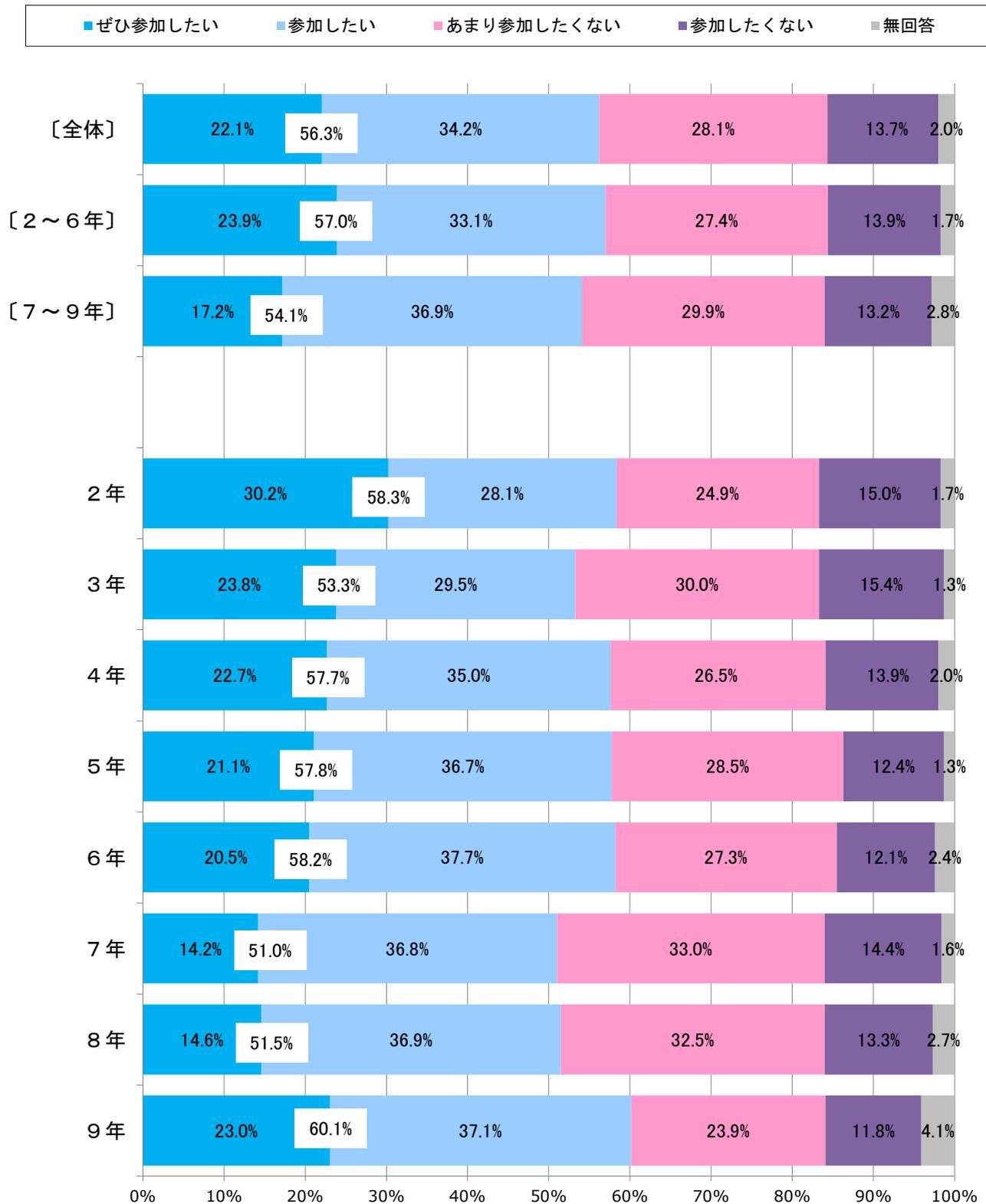
「とても興味がある」「興味がある」と「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全体で65.7%である。オリンピックへの興味に比べ、9.5ポイント低くなっている。  
 「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、2～6年ではほとんど変わらないが、7年で50%台に下がり、9年で再び60%台に上昇している。

[21] 将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。



「ぜひ参加したい」「参加したい」と「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全体で59.3%である。〔2～6年〕で60.7%、〔7～9年〕で55.5%である。  
 「肯定的な回答」の割合は、学年が上がるごとに低くなる傾向が見られるが、9年では61.6%と上昇している。

[22] 将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。



「ぜひ参加したい」「参加したい」と「肯定的な回答」をした児童・生徒の割合は、全体で56.3%である。〔2～6年〕で57.0%、〔7～9年〕で54.1%である。  
 「肯定的な回答」の割合は、学年が上がるごとに低くなる傾向が見られるが、9年では60.1%と上昇している。